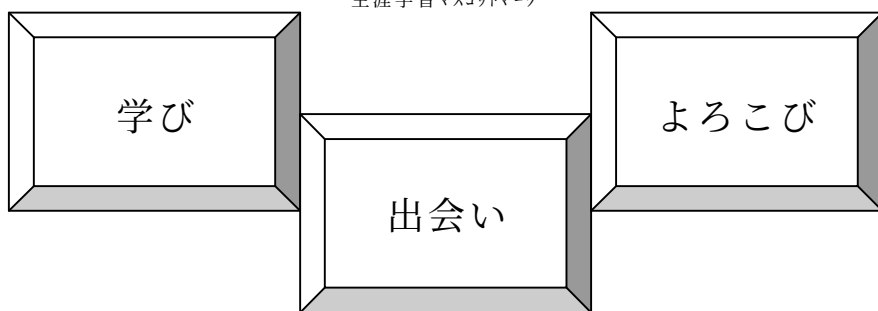


平成 2 5 年度

事業報告書



「マナビイ」
生涯学習マスコットマーク



石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

は じ め に

北陸新幹線金沢開業まで1年を切り、県内各地では新幹線の利用客を迎える準備が着々とすすみ、開業への機運が一段と盛りあがってきております。こうしたなか、当センターは本多の森庁舎に移転して今年度4年目を迎えており、県民の皆様の生涯学習はもとより、市町の取り組みを支援する拠点施設として、更に充実した事業に取り組んでまいりたいと考えております。

当センターの主要事業である「石川県民大学校」は、平成2年6月の開校から多くの県民の皆様のご参加をいただき、平成25年度は201の実施機関により、1,084の講座を開講し、修了生は同大学校・大学院を含めて620人を数えております。これもひとえに、講座実施機関をはじめとする関係各位のご理解、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、昨年度新企画としてスタートした「ふるさとモット学び塾」は、受講希望者が多く、中でも「ふるさとふれあい講座現地コース」では計画した5つのコースとも定員をはるかに超える参加申し込みがあり、やむなく抽選とせざるを得ない状況でした。今年度も引き続き、コースを改めて企画しておりますので、一人でも多くの皆様に参加していただけるよう工夫してまいりたいと思います。一方、「ふるさと発見出前講座」では、公民館への出前を昨年度より倍増することとしました。ふるさと学習としてこの機会を是非ご活用いただきたいと思います。更にこうした講座の一部はネット配信でも見ることもできるようにしたのでご利用いただきたいと思います。

また、これまで当センター内にあった「学習情報センター」を昨年度から県民の皆様から親しまれるように「まなびすとルーム」と名称を変更し、学習スペースと従来からあるマナビィコーナーとして、ご利用いただけるようにしました。当センター主催の講座を中心にオープンスペースの中で明るく楽しい学習空間を展開できるようにしたいと思います。いつでも自由に参加できるスペースになっておりますので多くの方にご利用いただきたいと思います。

この報告書は、平成25年度における当センターの事業実施状況をまとめたものです。巻末には調査研究レポートとして、「公民館における学習プログラムの作成及び実践事例」―学びの場を核とした地域コミュニティの形成を目指して―と、「ふるさとモット学び塾」～いしかわの魅力を再発見しよう！～を掲載しておりますので、併せてご高覧賜れば幸いに存じます。

最後になりましたが、当センターの事業の実施にあたり、ご尽力いただきました関係各機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成26年5月

石川県立生涯学習センター
館 長 村 澤 勉

目 次

I 生涯学習センター

1 石川県民大学校

(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ	3
(2) 石川県民大学校の入校状況	4
(3) 石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会	5
(4) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	6
(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	8
(6) 石川県民大学校の推移	9

2 講座事業

(1) ふるさとふれあい講座	11
(2) ふるさと発見出前講座	13
(3) あすなろ悠々塾	15
(4) 人権講演会	17
(5) 夏休み子ども映画会	18
(6) 本多の森映画会	18
(7) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～	19
(8) 兼六ビデオ講座	20

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	21
(2) まなびすとルーム	22
(3) 視聴覚ライブラリー	22
(4) 16ミリ映画教材提供	23
(5) 生涯学習センターだより(館報)	24
(6) 県民企画展示マナビィコーナー	25

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	26
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	27
(3) ファシリテーター養成講座	28
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	29
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	30

5 マナビィフェアin本多の森

6 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習振興県民フォーラム	32
(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修	33
(3) 教育事務所管内別生涯学習研修会	34
(4) 県民映像カレッジ	35
(5) ICT活用講座	35
(6) 視聴覚セミナー	36
(7) 平成25年度(第44回)いしかわビデオ作品コンクール	37
(8) 視聴覚いしかわ(会報)	38
(9) 自主サークル	38

II 生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) いしかわを知る講座	39
(2) 能登文化講座	39
(3) 古文書解読入門講座	40
(4) 古文書解読講座	40
(5) 能登陶芸教室	41
(6) あすなろ悠々塾in能登	41
(7) 能登特別映画会	42
(8) ビデオ教養講座(いしかわの文化を訪ねる)	42
(9) 夏休み子ども特別映画会	43
(10) 夏休み子ども陶芸教室	43
(11) 夏休み子ども科学教室	44

2 他の機関・団体との共催講座

(1) 大人の料理教室	45
(2) お菓子づくり教室	45
(3) サンドブラスト体験教室	46

3 能登分室利用状況

III 調査研究レポート

	48
--	----

I 生涯学習センター

1 石川県民大学校

(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ

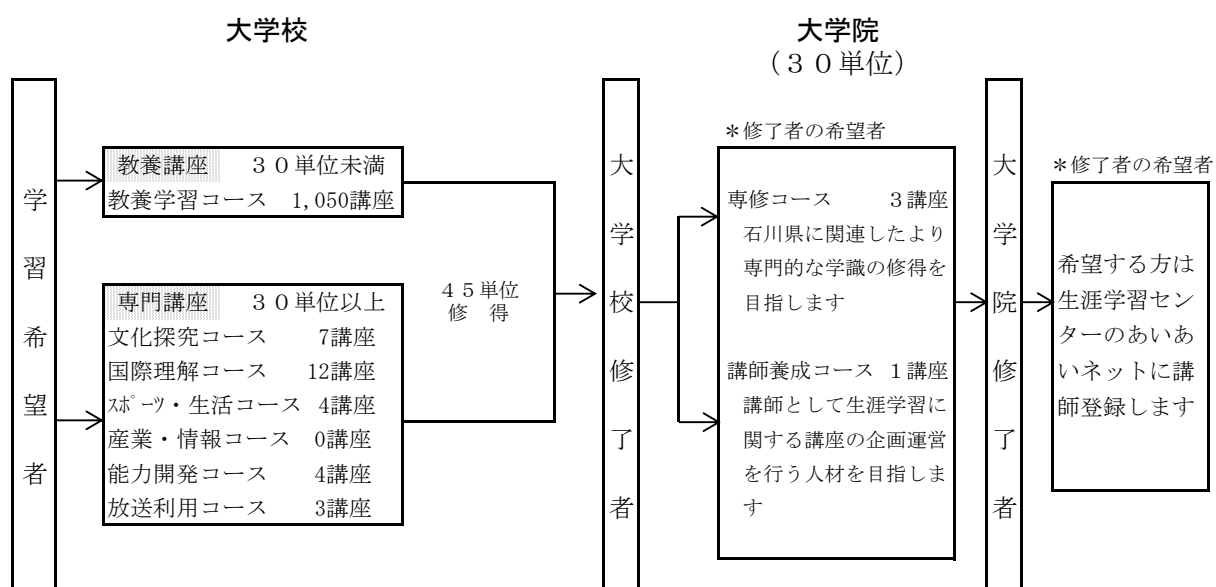
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

・講座数の推移

年度	講座数 ()内専門・大学院講座数	年度	講座数 ()内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成22年	944 (37・4)
平成 3年	274 (78)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 4年	290 (89)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 5年	313 (98)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 6年	321 (103)		
平成 7年	331 (111)		
平成 8年	325 (107)		
平成 9年	332 (117)		
平成10年	330 (126)		
平成11年	485 (121・4)		
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		



○石川県民大学校入学から修了までのしくみ



(2)石川県民大学校の入校状況(平成25年度)

表 1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
教養	教養学習	1,050	6,859
専門講座	文化探究	7	209
	国際理解	12	179
	スポーツ・生活	4	33
	産業・情報	0	0
	能力開発	4	172
	放送利用	3	1
	計	30	594
大学院	専修自然・歴史・文学	3	57
	講師養成	1	14
合 計		1,084	7,524

表 2 地区別入校者割合 (%)

地 区 名	入校者割合
加賀市	0.7
小松市・能美市・能美郡	3.9
白山市・石川郡	10.9
金沢市	68.0
かほく市・河北郡	5.3
羽咋市・羽咋郡	0.9
七尾市・鹿島郡	1.7
輪島市・鳳珠郡	6.1
珠洲市	1.9
不明・県外	0.5
合 計	100

表 3 年齢・男女別入校者割合

年 齢	男 (%)	女 (%)	合計 (%)
19歳以下	0.3	2.2	2.5
20歳～29歳	0.2	0.2	0.4
30歳～39歳	0.0	1.5	1.5
40歳～49歳	0.9	3.9	4.8
50歳～59歳	1.9	5.3	7.2
60歳～69歳	10.4	16.5	26.9
70歳～79歳	11.6	10.5	22.1
80歳以上	2.2	0.7	2.9
不 明	11.7	20.0	31.7
合 計	0	0	100

(3)石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会

趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。

対象・参加者

平成24年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等 220名

会 場

本多の森庁舎会議室

期 日

平成25年6月8日(土) 13:00～15:20

日 程

13:00～13:30	修了証書交付式 平成24年度修了生597名のうち97名(大学校83名、大学院14名)の方に、谷本正憲学長から修了証書が交付された。
13:40～15:20	記念講演 「陶道無今昔(とうどうにこんじゃくなし)」と題して、陶芸家・文化勲章受章者 十代 大樋 長左衛門氏を講師として記念講演が行われた。

事業の評価(成果・課題)

石川の文化・歴史・自然等を学んだ方々に、学んだ成果として修了証書を交付することにより、学びの気運に満ちた生涯学習社会づくりへの気運を醸成することができた。

記念講演では、十代大樋長左衛門氏が、半生を振り返り、独創することの重要性が大切であると説かれた。聴講された方からは、感銘を受けたなどの感想があった。

(4)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

平成25年6月8日(土)～平成26年1月25日(土)

会 場

本多の森庁舎会議室

定 員

講師養成コース 15名

専 修コース 60名 (自然・歴史・文学の3講座あわせて)

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	6月8日(土) 13:00～15:20	記念講演「陶道無今昔」 (石川県民大学校・大学院修了証書交付式)	陶芸家・文化勲章受章者 十代 大樋 長左衛門	220人
2	6月11日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「水戸光子のミステリー―長編『贗(にせ)』の評価と魅力―」	金沢学院大学文学部准教授 薮 際子	30人
3	6月12日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「近世金沢における料理屋」	金沢学院大学文学部教授 見瀬 和雄	52人
4	6月14日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「フロアの滝を越えられない植物たち」	石川県立大学非常勤講師 高木 政喜	21人
5	6月17日(月) 13:30～15:30	専修コース歴史 「古代の加賀国と東アジア」	金沢学院大学文学部教授 小嶋 芳孝	48人
6	6月18日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「泉鏡花『山海評判記』の世界―近代文明とオシラサマ信仰との交錯―」	金沢学院大学文学部教授 山下 久夫	18人
7	6月21日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「なぜ近くに野生動物が来るのか」	石川県立自然史資料館館長 水野 昭憲	17人
8	6月25日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「現代文学と石川」	金沢学院大学文学部教授 水洞 幸夫	26人
9	6月26日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「関ヶ原役前後に於ける或る小大名の悲哀―越前今庄邑主赤座備後守吉家の場合―」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	65人
10	6月28日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「石川の風土と歴史を科学する」	金沢大学名誉教授 本浄 高治	30人
11	7月2日(火) 13:30～15:30	専修コース・講師養成コース 「論文作成講座」	金沢学院大学文学部教授 見瀬 和雄	45人
12	7月9日(火) 13:30～15:30	専修コース文学・歴史 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館専門員 鷺澤 淑子 他	27人
13	7月10日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「プレゼンテーションの基本」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	8人
14	7月12日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 石川県立自然史資料館での学習	石川県立自然史資料館館長 水野 昭憲 他	6人
15	7月17日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「講座の企画・運営・広報について」	協同組合アドビジネスセンター理事長 田中 尚人	7人

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
16	8月21日(水) 13:30～15:10	講師養成コース 「講師のためのIT活用術」	オフィスアシスタ代表 山川 広美	5人
17	8月28日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの技法」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	6人
18	9月24日(火) 13:30～15:30	専修コース文学・歴史 試論指導	論文指導講師	13人
19	9月25日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 試論指導	論文指導講師	5人
20	9月27日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 試論指導	論文指導講師	5人
21	10月22日(火) 13:30～15:30	専修コース文学・歴史 論文指導	論文指導講師	14人
22	10月23日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	5人
23	10月25日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 論文指導	論文指導講師	5人
24	10月30日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画書作成指導	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	5人
25	12月4日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画講座発表会	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	5人
26	1月25日(土) 13:30～15:40	「石川の博士」論文発表会 記念講演「武士料理と加賀料理」	株式会社 大友楼 代表取締役 大友 佐俊	108人
合 計				796人

※左記2～10の講座については、一般の方に開放している講座。

事業の評価（成果・課題）

講師の先生方のきめ細かい論文指導により、修了生35名の研究成果を「石川の博士」論文集としてまとめることができた。来年度は、受講生がより円滑に論文作成ができるよう、専修コース・講師養成コースの講座内容や指導体制を充実させることとする。

また、一般の方に開放している専修コースの基本講座については、より積極的に広報を行うことにより、受講者数の拡大を図りたい。

(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演をととして県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

日 時

平成26年1月25日(土)13:30～15:40

会 場

本多の森庁舎会議室

対象・参加者

平成25年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 108 名

日 程

13:30～14:30	論文発表 ①「グランパ・グランマの子育て講座 ー出番です！祖父母世代ー」 講師養成コース代表 水島 栄美子 ②「先祖由緒并一類附帳の検証 幕末維新に生きた加賀藩下級武士の足跡」 専修コース歴史代表 松原 勝 ③「西田幾多郎と鈴木大拙と日本文化」 専修コース文学代表 本吉 哲夫 ④「旧石川郡白峰村の巨樹をたずねて」 専修コース自然代表 石川 喜久
14:40～15:40	記念講演 「武士料理と加賀料理」 株式会社 大友楼 代表取締役 大友 佐俊

事業の評価(成果・課題)

今年度大学院を修了した4名による発表はよくまとまっており好評であった。記念講演も加賀料理の話にはじまり、武士の生活や当時の習慣にまでわたって、興味深い内容であった。聴講された方から多くの質問もあがるなど、石川への興味・関心がさらに高まった講演となった。

(6) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
大 学 校	教 養 講 座 計	855	854	894	903	983	1,019	1,050
	文化探求コース	9	9	9	9	9	8	7
	国際理解コース	12	11	11	11	12	12	12
	スポーツ・生活コース	15	12	12	9	4	4	4
	産業・情報コース	1	1	1	2	1	1	0
	能力開発コース	5	3	4	3	5	3	4
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
	専 門 講 座 計	45	39	40	37	34	31	30
	大 学 校 計	900	893	934	940	1,017	1,050	1,080
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		904	897	938	944	1,021	1,054	1,084

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年度 講座数	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
国 立 機 関	機 関 数	3	3	3	4	3	5	3
	講 座 数	38	36	56	54	52	39	60
知事部局等	機 関 数	38	32	33	31	31	30	33
	講 座 数	183	172	182	166	185	187	191
県 立 学 校	機 関 数	51	53	57	54	52	52	34
	講 座 数	52	53	57	55	53	52	35
県 教 委	機 関 数	13	14	13	12	12	12	12
	講 座 数	158	143	155	163	178	186	206
県 機 関 計	機 関 数	102	99	103	97	95	94	79
	講 座 数	393	368	394	384	416	425	432
市町村教委	機 関 数	39	37	38	34	37	50	58
	講 座 数	157	137	140	127	154	202	230
各 種 法 人	機 関 数	38	38	45	38	38	41	41
	講 座 数	203	232	219	238	272	260	246
各 種 団 体	機 関 数	18	19	25	24	19	19	20
	講 座 数	113	124	129	141	127	128	116
合 計	機 関 数	200	196	214	197	192	209	201
	講 座 数	904	897	938	944	1,021	1,054	1,084

表3 入校者数の推移

(単位 : 人)

年 度		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	合計
大 学 校	○教養講座 計	5,795	7,157	6,974	7,255	6,970	7,279	6,859	81,479
	文化探究コース	311	307	310	294	299	347	209	12,057
	国際理解コース	170	159	186	121	167	172	179	8,470
	スポーツ・生活コース	64	1	12	20	0	0	33	8,123
	産業・情報コース	3	2	3	8	0	0	0	4,482
	能力開発コース	124	71	113	61	123	78	172	6,949
	放送利用コース	0	4	5	0	4	2	1	1,450
	○専門講座 計	672	544	629	504	593	599	594	41,531
大 学 院	専修コース	96	111	80	71	86	77	57	1,569
	講師養成コース	27	23	21	17	15	10	14	369
	○石川の博士養成講座 計	123	134	101	88	101	87	71	1,938
合 計		6,590	7,835	7,704	7,847	7,664	7,965	7,524	124,948

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表4 修了者数の推移

(単位 : 人)

年 度		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	合計
大 学 校	○教養講座 計	317	249	213	204	262	260	197	2,701
	文化探究コース	218	181	197	184	203	190	264	4,243
	国際理解コース	34	50	36	64	42	90	90	1,882
	スポーツ・生活コース	13	1	4	7	1	0	33	1,772
	産業・情報コース	0	1	3	8	7	2	0	641
	能力開発コース	62	75	87	63	20	26	0	3,596
	放送利用コース	0	1	2	1	2	2	1	45
	○専門講座 計 (コース重複)	315 (12)	309 (0)	328 (1)	326 (1)	275 (0)	310 (0)	388 (0)	11,587 (592)
大 学 院	専修コース	31	34	17	26	25	25	30	459
	講師養成コース	12	6	6	5	5	2	5	156
	○石川の博士養成講座 計	43	40	23	31	30	27	35	615
合 計		675	598	564	561	567	597	620	14,903

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表5 年代別修了生数

(単位 : 人)

大学校(院)	年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大学校	男 性(人)	2	1	0	5	11	61	68	13	69	230
	女 性(人)	13	1	9	23	31	96	61	4	117	355
大学院	男 性(人)	0	0	1	1	1	8	15	1	0	27
	女 性(人)	0	0	0	4	1	1	1	1	0	8
合 計	人 数(人)	15	2	10	33	44	166	145	19	186	620
	割 合(%)	2.4	0.3	1.6	5.3	7.1	26.8	23.4	3.1	29.9	100

※ 構成割合については、四捨五入しているため100%にならない場合がある。

2 講座事業

(1) ふるさとふれあい講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、専門家による石川の文化・歴史・自然等をテーマとした講座を実施する。本多の森庁舎を会場に行う10回の講座(「本多の森会場」)と景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する5回の講座(「現地コース」)を実施する。

① 本多の森会場

対象・定員

一般 100名

会 場

本多の森庁舎 会議室

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	7月27日(土) 13:30～15:00	県外から見た石川の魅力	パティシエ 辻口 博啓	110 人
2	8月 9日(金) 13:30～15:00	加賀友禅の道と私の道	加賀友禅作家 由水 十久	98 人
3	8月23日(金) 13:30～15:00	霊山白山の自然環境	石川県白山自然保護センター 研究主幹 東野 外志男	64 人
4	9月 8日(日) 13:30～15:00	戦国武将の国づくり ～前田利家の活躍したころ～	北陸大学教授 長谷川 孝徳	114 人
5	9月20日(金) 13:30～15:00	珠洲焼を生んだ歴史風土	元珠洲焼資料館館長 西山 郷史	94 人
6	9月29日(日) 13:30～15:00	北前船と海の百万石	石川県金沢城調査研究所 所長 木越 隆三	103 人
7	10月18日(金) 13:30～15:00	県産農林水産物のブランド化	石川県農林水産部生産流通課 課参事 寺崎 信二	61 人
8	11月 2日(土) 13:30～15:00	金沢戦国社会と一向一揆	金沢学院大学教授 東四柳 史明	116 人
9	11月22日(金) 13:30～15:00	能登・加賀の動物	石川県自然史資料館館長 水野 昭憲	53 人
10	11月29日(金) 13:30～15:00	加賀の茶の湯	石川県茶道協会代表幹事 大島 宗翠	82 人
合計				895 人

② 現地コース

対象・定員

一般 25名

日程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	9月21日(土) 8:30～17:00	白山信仰と加賀の一向一揆ゆかりの地を訪ねて	小松短期大学教授 由谷 裕哉	35 人
2	10月23日(水) 8:30～17:30	能登守護畠山氏と長谷川等伯を訪ねて	金沢学院大学教授 東四柳 史明	35 人
3	11月10日(日) 8:10～17:30	前田利家と能登ゆかりの地を訪ねて	〃	32 人
4	11月20日(水) 10:00～15:30	金沢の情緒漂う茶屋街と卯辰山麓寺院群を訪ねて	金沢美術工芸大学名誉教授 黒川 威人	15 人
5	12月14日(土) 8:30～16:00	「海の道」に挑んだ男たちの足跡を訪ねて	橋立町さわやかガイド代表 宮本 昭夫	32 人
合計				149 人

事業の評価(成果・課題)

「本多の森会場」については、原則として10講座を受講することとしたが、天候不順や特定分野への興味・関心の薄さ等から定員を下回った講座があった。講座の内容については、アンケートの「満足・やや満足」の項目が87.2%と、好評で、良い成果を得ることができた。

「現地コース」については、各回定員25名に対し、申込数が大きく上回ったことから35名を受け入れることとしたが、悪天候や受講者の急な都合によるキャンセルなどで参加人数が少なくなった講座があった。講座の内容については、アンケートの「興味が持て、参考になる内容だった」の項目について「とても良かった・良かった」が各回92.8～100%と、より深い学びの場を提供することができた。

全体として、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができた。

来年度については、受講者から要望のあったテーマ・講師の選定とともに、参加しやすい時期設定等を工夫していきたい。

(2) ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、小中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然等をテーマとした出前講座を実施する。

対象・定員

小中学校：児童・生徒 30名以上 ※小学校は4年生以上

公 民 館：一般 10名以上

日 程

① 小中学校(15校)

番号	日 時	学 校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	7月 4日(木) 14:40～15:25	小松市立 中海小学校(6)	石川の生き物たち	いしかわ動物園企画教育係 山本 邦彦	23 人
2	7月 8日(月) 14:00～15:30	加賀市立 東和中学校(1)	柴山潟とラムサール条約	金沢星稜大学人間科学部教授 永坂 正夫	130 人
3	9月10日(火) 11:35～12:15	金沢市立 安原小学校(4)	打木源助大根の生みの親 松本佐一郎について	石川県児童文化協会副会長 水野 幸	85 人
4	9月10日(火) 13:40～14:25	かほく市立 金津小学校(6)	加賀百万石の成り立ちと 参勤交代	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	13 人
5	9月11日(水) 10:35～11:20	金沢市立 額小学校(4)	金沢の三文豪	石川近代文学館学芸員 奥田 知穂	91 人
6	9月20日(金) 14:40～15:25	金沢市立 富樫小学校(6)	加賀百万石と前田家 金沢歴史探訪	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	81 人
7	10月 1日(火) 13:40～14:40	小松市立 芦城中学校(1・2)	伝統の中の独自性 ～三代から四代八十吉へ～	九谷焼陶芸家 四代 徳田 八十吉	361 人
8	10月16日(水) 13:45～14:30	内灘町立 鶴ヶ丘小学校(6)	加賀百万石と前田家	観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	69 人
9	11月 5日(火) 10:40～11:25	金沢市立 泉野小学校(4)	石川のやきものー九谷焼ー	石川県九谷焼美術館学芸員 師岡 正樹	96 人
10	12月 3日(火) 11:35～12:20	金沢市立 木曳野小学校(4)	金沢漆器と加賀蒔絵	金沢漆器伝統工芸士 村田 百川	120 人
11	12月17日(火) 8:30～10:00	金沢市立 三谷小学校(3-6)	土で遊ぶ 粘土・焼き物の世界	北陶 飯田 雪峰	27 人
12	12月17日(火) 10:40～11:25	金沢市立 伏見台小学校(5)	金沢の郷土料理	青木クッキングスクール理事長 青木 誠治	108 人
13	1月14日(火) 14:15～15:10	かほく市立 高松中学校(1)	加賀百万石と前田家 金沢歴史探訪	金沢学院大学教授 東四柳 史明	100 人
14	1月30日(木) 8:30～9:25	野々市市立 館野小学校(4)	より高い目標に向かって ～「友禅」制作を通して～	友禅作家 四ッ井 健	80 人
15	2月21日(金) 13:30～14:20	金沢市立 港中学校(1)	化石の話 ～金沢周辺の例～	石川県立自然史資料館 学校地域支援担当 北村 栄一	180 人
合 計					1,564 人

② 公民館(10館)

番号	日 時	公民館	演 題	講 師	参加人数
1	7月28日(日) 5:00～7:00	珠洲市 上戸公民館	早朝上戸知ろう会	上戸知ろう会 櫻井 重行	32 人
2	8月11日(日) 10:30～12:00	七尾市 御祓公民館	長谷川等伯の歩み	金沢学院大学教授 東四柳 史明	36 人
3	10月19日(土) 19:00～21:00	宝達志水町公民館 (親子)	秋の星空観察	能登町教育委員会事務局主幹 室石 英明	42 人
4	10月27日(日) 13:00～13:45	金沢市 伏見台公民館	白山信仰の歴史	小松短期大学教授 由谷 裕哉	30 人
5	10月29日(火) 13:30～15:00	羽咋市 千里浜公民館	能登における幕府巡見使について・塵浜村のこと	生涯学習センター能登分室職員 南 龍保	58 人
6	11月16日(土) 19:00～20:30	七尾市 鉦打公民館	里山里海の保全	能登半島里山里海自然学校 常駐研究員 赤石 大輔	17 人
7	11月22日(金) 13:00～14:30	珠洲市 若山公民館	世界農業遺産と奥能登の郷土料理	金沢大学地域連携推進センター 特任教授 宇野 文夫	11 人
8	1月25日(土) 10:00～11:30	能登町 秋吉公民館	里山里海の保全	金沢大学 能登「里山里海マイスター」 育成プログラム 博士研究員 伊藤浩二	17 人
9	2月15日(土) 9:30～11:00	野々市市 野々市公民館	からくり師大野弁吉とその時代	金沢星稜大学教授 本康宏史	25 人
10	3月 2日(日) 10:30～11:50	白山市 鳥越公民館	石川と山麓の郷土料理	青木クッキングスクール副校長 得永昭子	180 人
合計					448 人

事業の評価(成果・課題)

本出前講座の実施により、小中学校の児童・生徒や当センターから遠方に居住する方など、幅広い世代や広域地域の方々に石川の魅力を学ぶ機会を提供することができた。また、各小中学校・公民館のアンケートからは、講師・講義内容などについて高い評価を得ることができた。来年度は実施する公民館数を20に増やし、一般県民の学習機会をより一層拡充することとする。

(3)あすなろ悠々塾

趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般の方を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

参加対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月 3日(月) 13:30～15:30	歴史講座 「昔人に聞く～私論！ 高山右近～」①	堀川 惇夫	45 人
2	6月 4日(火) 13:30～15:30	〃 ②		47 人
3	6月 5日(水) 13:30～15:00	文化講座 「邦楽のいろは入門～伝統的な三味線音楽にふれる～」①	金田 晃	12 人
4	7月24日(水) 13:30～15:00	〃 ②		4 人
5	6月 7日(金) 10:00～12:00	文化講座 「楽しく学ぶ、やさしい心理学」①	山本 紀子	23 人
6	6月21日(金) 10:00～12:00	〃 ②		27 人
7	6月11日(火) 13:30～15:30	歴史講座 「石川の地名の由来にせまる」	後藤 朗	50 人
8	6月15日(土) 13:00～14:30	歴史講座 「ふるさとの謎を探る～加賀藩歴史物語～」	中田 廉子	46 人
9	6月15日(土) 14:45～16:15	健康講座 「定年後テーマと東海道五十三次！」	植茶 泰男	42 人
10	6月17日(月) 13:30～15:00	歴史講座 「戦後68年の日本のあゆみ」	谷川 克己	28 人
11	6月24日(月) 10:00～12:00	福祉講座 「認知症へのサポート」	竹下 知子	18 人
12	7月 1日(月) 13:30～15:00	国際理解講座 「アジアの人々の生活と考え方」	谷川 克己	24 人
13	7月 3日(水) 13:30～15:00	環境講座 「環境基準の適正化について考える」①	西本宗之助	12 人
14	10月 3日(木) 13:30～14:30	歴史講座 「前田松(芳春院)の生涯の一部を紹介」	今井 喜江	16 人
15	10月 7日(月) 13:30～15:00	人生講座 「石川県の偉人 日本社会福祉の祖 小野太三郎の善意の心」①	小坂 與繁	15 人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
16	10月15日(火) 13:30～15:00	人生講座 「石川県の偉人 日本社会福祉の祖 小野太三郎の善意の心」②	小坂 與繁	6 人
17	10月 9日(水) 13:30～15:00	文化講座 「色が教えるあなたの可能性」	岩森 陽子	9 人
18	10月12日(土) 13:30～15:00	健康講座 「骨盤のゆがみと健康について」	藤井 隆伸	17 人
19	10月16日(水) 10:00～12:00	歴史講座 「石川のキリシタン史と足跡」	竹下 知子	中止
20	10月19日(土) 13:30～15:00	健康講座 「キレイの素は骨盤にあり!～ゆがみを正して健康美人になりましょう～」	酒井 彰子	19 人
21	10月26日(土) 13:00～14:30	歴史講座 「ヘレン・ケラー女史の訪日と2度の金沢来訪」	北村 徹雄	21 人
22	10月26日(土) 14:45～16:15	自然講座 「石川県の食用エビ・カニ類」	本尾 洋	4 人
23	10月29日(火) 13:30～15:00	環境講座 「環境基準の適正化について考える」②	西本 宗之助	5 人
24	11月 2日(土) 10:00～11:30	人生講座 「知っ得! セカンドライフ満喫塾」	石川 肇	16 人
25	11月12日(火) 13:30～15:00	人生講座 「勇気と希望の湧く 先人たちのことば!」①	松本 泰治	12 人
26	11月19日(火) 13:30～15:00	〃 ②		11 人
27	11月30日(土) 13:30～15:00	歴史講座 「藩政期野田村に塩硝蔵があった!」	前川 哲朗	22 人
合計				551 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は講師19名による26講座を開講することができたが、(1講座・講師都合により中止)、10月以降の天候不順も影響して、受講者総数が昨年度に比べ、減少(77名)したことから、終期の見直しを検討していきたい。

来年度は、講座開設5年目を迎えることから、オープンスペースの「まなびすとルーム」での開講により、来館者が気軽に受講が出来るように努める。また、県民の生涯学習の成果発表の機会を拡大に努めるとともに、講師に対する支援をより一層充実することとする。

(4) 人権講演会

趣 旨

人権尊重の理念に基づき、社会教育の一環として著名な講師による講演会を実施し、一般県民や公民館職員の意識高揚を図る。

対象・定員

一般及び公民館職員研修受講者 定員 100名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
6月 27日 (木) 13:00～14:30	人権講演会 演 題 「セクハラ・パワハラのない職場にするために～ その言動、相手はどう受け止めますか?～」	弁護士 加藤 美香保	80人

(注) 参加人数内訳: 一般15人、公民館職員基礎研修51人、公民館職員専門研修14人

事業の評価(成果・課題)

セクハラ・パワハラの定義や起こる背景、裁判事例や職場における防止策などについて、わかりやすいお話をいただき、参加者の人権意識が高まったものと思われる。来年度においても、身近に起こりうる人権問題をテーマとした講師を選定するなど、公民館職員等の人権意識の高揚につながる講演会となるよう工夫する。

(5) 夏休み子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して園児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

保育園児、幼稚園児、小学生及び保護者 200名

会 場

石川県立美術館ホール

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月31日(水) 13:30～15:30	「サンリオ世界名作映画 ハローキティの小公女」、「トンデモネズミ大活躍」	121 人
2	8月1日(木) 13:30～15:30	「猫の事務所」、「こねこムーのおくりもの」、「ムーミン谷の彗星」	200 人
合 計			321 人

事業の評価(成果・課題)

市内の児童クラブ、保育園等の団体鑑賞や、親子での多くの参加を得た。特に団体での参加者は、個人で過ごすことの多い夏休みにおいて、団体行動を行う良い機会となっているようである。

また、臨場感ある大画面での上映は、子どもたちに大変好評であった。

来年度も多くの参加者が鑑賞しやすいよう、色々な作品の上映を行うとともに、引き続き同会場の利用を検討したい。

(6) 本多の森映画会

趣 旨

視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材を活用し、名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出増を図る。

対象・定員

一般県民 80名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	10月1日(火) 13:30～15:30	「カサブランカ」	49 人
2	10月2日(水) 13:30～15:30	「第三の男」	40 人
3	10月3日(木) 13:30～15:30	「冬構え」	53 人
4	11月2日(土) 10:00～12:00	「みすゞ」	72 人
合 計			214 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、往年の名作映画・名作ドラマと、近年制作の話題作の上映を行った。メインターゲットとした中高年世代に大変好評であり、継続して映画上映会の実施を望む声が多く聞かれた。

また、10月はミュージアムウィークと協賛する形で実施することで、より多くの参加者を得ることができた。今後もこういった形での実施を検討していきたい。

11月のマナビフェアの際は、近年多くの人々の心を引きつけている詩人・金子みすゞを、金沢出身の女優・田中美里が演じた映画ということもあって、大変多くの参加者があった。

石川県にゆかりのある作品で上映可能なものがあれば、積極的に活用し、利用者増に繋げたい。

(7) 本多の森シネマアーカイブ ～秘蔵16ミリ上映講座～

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵する貴重な16ミリ映像教材を活用し、体験することが難しくなりつつある映写機によるフィルム上映の味わいとともに、過去の自然文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 80名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	6月19日(水) 13:30～15:45	「青い山脈'88」	19 人
2	7月19日(金) 13:30～15:30	「敦煌の芸術」、「遺跡の旅 岩窟の宗教壁画 カップドキア」、「文明を湛える海 地中海世界」、「大いなる南極大陸」	21 人
3	9月19日(木) 13:30～15:30	「激動の記録 映像で見る戦後(S20～S24)」、「高度成長への道(S26～S39)」、「激動の記録 映像で見る戦後(S39～S43)」、「につぼん洋食物語」	18 人
4	10月19日(土) 13:30～15:45	「翼は心につけて」	22 人
5	11月1日(金) 13:30～15:45	「昭和天皇の石川巡幸」、「能登路・加賀路の常陸宮殿下」、「蒔絵の美 松田権六の世界」、「大空に架ける50万V能登線」、「朱鷺」	31 人
合計			111 人

事業の評価(成果・課題)

本県ゆかりのものも含め、かなり貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見ることの出来ない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。

また、近年映画館も含め、フィルム上映が行われる機会が激減している中で、映写機による上映を体験する機会を県民に持ってもらうことは、映像文化の面からも非常に重要であると思われる。

フィルムライブラリーを有する当センターが、今後ともこの重要な責を担っていく必要がある。

(8) 兼六ビデオ講座

趣 旨

石川県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 50名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	上映ビデオ			参加人数
		いしかわ大百科	京都の魅力 美のすべて	いしかわ人国記／ 日本の歴史を象徴する 建造物とその庭園	
1	5月16日(木) 14:00～15:30	ふるさと探訪シリーズ わが街こころの風景 金沢城・水辺めぐり 金沢市	1. 洛中	いしかわ人国記 坂尻屋珈涼 俳句に託す	38 人
2	6月2日(日) 14:00～15:30	” 芸術を生み出す街 七尾市	2. 東山	” 大野弁吉 機巧から科学	25 人
3	6月13日(木) 14:00～15:30	” 勸進帳の里 小松市	3. 洛北	” 任誓 大地の信仰者	37 人
4	7月4日(木) 14:00～15:30	” 塗師の家と「誇り」 輪島市	4. 洛西	” 加藤せむ 女子教育に捧ぐ	30 人
5	8月8日(木) 14:00～15:30	” 神子原・里山に生きる 羽咋市	5. 京都御所、 仙洞御所	” 小田吉之丈 郷土を著す	26 人
6	8月19日(月) 14:00～15:30	” 最先端から生まれた文化 珠洲市	6. 宮廷文化	” 本岡三千治 農業開発に努力	26 人
7	9月5日(木) 14:00～15:30	” 恵みに抱かれた温泉郷 加賀市	7. 東寺	” 前大峰 漆芸に新境地	24 人
8	10月10日(木) 14:00～15:30	” 哲学にふれる かほく市	8. 平等院	” 東方芝山 藩政を論じる	18 人
9	10月25日(金) 14:00～15:30	” 霊峰に恋して 白山市	9. 三千院／ 醍醐寺	日本の歴史を象徴する建造物とその庭園 1. 江戸の栄華	21 人
10	11月7日(木) 14:00～15:30	” 九谷焼のまち 能美市	10. 金閣寺／ 銀閣寺	” 2. 尾張の散策	16 人
11	11月19日(火) 14:00～15:30	” じょんからの里 野々市市	11. 桂離宮	” 3. 現代の中の歴史	22 人
12	12月5日(木) 14:00～15:30	” 手取川と生きる 川北町	12. 修学院離宮	” 4. 曲水の流れ	25 人
13	12月25日(水) 14:00～15:30	” 俱利伽羅歴史散歩 津幡町	13. 寺院の庭	” 5. 虎溪山に思う	25 人
14	1月9日(木) 14:00～15:30	” 石動山遺跡めぐり 中能登町	14. 二条城	” 6. 笛吹川のほとり	23 人
15	1月25日(土) 14:00～15:30	” 熱き能登の民 能登町	15. 京の行事	” 7. 都雅の聚楽	21 人
合 計					377 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も、県民大学校放送利用講座として過去にテレビ放映された「いしかわ大百科」、及び「いしかわ人国記」を教材として活用した。石川県の歴史を学びたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも「今まで知らなかった郷土の歴史を知ることが出来た」「新たな発見があった」等の感想が聞かれ、参加できなかった講座の解説資料を求める受講生もいるなど、大変好評であった。また「京都の魅力美のすべて」「日本の歴史を象徴する建造物とその庭園」についても、解説を加えることでより理解しやすくなり、好評であった。当センター視聴覚ライブラリーでは良質のVHS教材を数多く所蔵しているが、VHSを再生出来ずこれらの教材を見ることが出来ない家庭も多くなってきているため、今後もVHS教材を活用した講座を継続し、県民に学ぶ機会を提供していくことが必要と考える。

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」・「講師案内」・「視聴覚教材情報」・「ふるさと情報」・「イベント情報」の提供をインターネット上で行っている。また、今年度より県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び、当センターの新規主催講座「ふるさとモット学び塾」の一部動画配信を開始した。幅広く県民の要望に応じて、充実した生涯学習情報を県民に提供するシステムである。

対 象

一般県民

運 用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置して石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

提供情報

＜データベース＞（14,711件）

ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438件
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ教材	11,136件
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	60件
講座案内	県内の各種講座・講演会等	557件
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	495件
映像	今蘇る石川の記録映画・講座ビデオ(ふるさとモット学び塾)	25件

利用状況

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
データベース	44,599	37,472	38,162	41,024	44,162

(2) まなびすとルーム

業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県民企画展示コーナー(マナビィコーナー)・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

対 象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内(石川県本多の森庁舎2階)

(3) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材(16ミリフィルム・ビデオ等)の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対 象

各市町教育委員会、公民館及び団体等(ビデオ・CD・DVDは個人も対象)

開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内(石川県本多の森庁舎2階)

視聴覚教材保有状況

区 分 \ 本 数	平成24年度末	平成25年度		合 計
		購 入	寄 贈・その他	
16ミリフィルム	1,557 本	0 本	0 本	1,557 本
ビデオテープ	6,016	0	0	6,016
CD	830	0	0	830
DVD	1,124	55	82	1,261

利用状況

区 分 \ 本 数	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム	154	5,757	181	5,666	218	5,252	65	4,209	74	4,093
ビデオテープ	8,623	33,026	3,958	21,637	3,322	15,542	1,762	11,081	1,185	5,618
CD	1,301	2,610	668	1,178	863	4,748	501	1,373	331	867
DVD	1,165	3,017	1,137	3,495	1,405	10,130	1,025	7,543	1,712	9,623

(4) 16ミリ映画教材提供

趣 旨

市町教育委員会と連携し、市町の公民館等生涯学習施設において、県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーが所蔵する16ミリ映画の上映を行うことにより、幅広く県民の生涯学習活動を支援する。

対象・定員

子ども・一般 定員は各会場による

会 場

- 第1回 稚松公民館(小松市)
- 第2回 根上総合文化会館(能美市)
- 第3回 根上総合文化会館(能美市)
- 第4回 町民センターアステラス(宝達志水町)
- 第5回 加賀市文化会館(加賀市)
- 第6回 空とこども絵本館(小松市)
- 第7回 内灘町文化会館(内灘町)

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	6月18日(火) 10:00～12:00	「素人助役奮闘記」	44 人
2	7月18日(木) 13:30～15:30	「イタズ」	45 人
3	7月29日(月) 13:30～15:30	「アルプスの少女ハイジ」	64 人
4	8月 7日(水) 14:00～15:30	「一休さん 泥棒と地蔵さん」、「いじわる狐ランボーの勇気」、 「鉢かづき姫」	78 人
5	8月22日(木) 13:30～15:00	「一休さん たけのこと虎退治」、「がんばれ盲導犬サーブ」、 「杜子春」	40 人
6	10月12日(土) 14:00～15:00	「五つのはなのえき」、「どじょっこ・ふなっこ」、「ポーさんのカヌー」、 「六羽の白鳥」	44 人
7	1月17日(金) 13:25～14:45	「すばらしい私のおじいちゃん」、「妻ありてこそ」	131 人
合 計			446 人

事業の評価(成果・課題)

16ミリは、フィルム、映写機とも貴重な財産であり、使える間に少しでも多くの県民に利用していただくことが重要である。当年度において新たな施設で連携して事業を実施できたことは、大きな成果であったといえる。

今後、市町の生涯学習活動を支援する視点から、利用申込み期限を設けないなど、柔軟に利便性を向上する事業に工夫していきたい。

(5) 生涯学習センターだより(館報)

発行日・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
5月21日 第266号	表題 「生涯学習の振興と社会教育の 活性化に向けて！」 執筆者 石川県社会教育協会 会長 新 村 健 了	表題 「“卒業後”のビデオ仲間との出会い に感謝！」 執筆者 生涯学習センタービデオクラブ員 小 屋 忠 男
11月21日 第267号	表題 「生涯学習センターの役割」 執筆者 石川県立生涯学習センター 館長 村 澤 勉	表題 『ふるさと発見出前講座 「見る、 知る、考える、柴山潟の自然環境」 を通しての出会い』 執筆者 加賀市動橋公民館 元館長 岡 田 憲 明

(6) 県民企画展示マナビィコーナー

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内(石川県本多の森庁舎2階)

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月 3日(水)～ 4月29日(月) 9:00～18:00	茶道用陶器作品展 ＜同時展示＞皮革作品	川尻義典
2	5月 1日(水)～ 5月31日(金) 〃	庄田雷寛展	庄田常章
3	6月 2日(日)～ 6月16日(日) 〃	ねんど人形作品展	クラフト工房マザーグース
4	6月23日(日)～ 7月20日(土) 〃	第24回 牛歩会篆刻展	牛歩会
5	7月22日(月)～ 8月16日(金) 〃	越原隆夫写真展 (泉流日本舞踊・泉幸志)	越原隆夫
6	8月19日(月)～ 8月30日(金) 〃	「里山絵本おんどろ森のふしぎな泉」原画展	ケロンの小さな村
7	9月 1日(日)～ 9月25日(水) 〃	金沢城公園と兼六園の植物と風景	今城哲二
8	9月27日(金)～10月26日(土) 〃	水墨画・手彫り石・緑生正樹展	中出正樹
9	11月 1日(金)～11月30日(土) 〃	第33回石川県児童生徒俳句大会入選作品展	石川県俳文学協会 児童生徒俳句委員会
10	10月31日(木)～11月29日(金) 〃	鶴峰会作品展	鶴峰会
11	12月 2日(月)～12月25日(水) 〃	ワイルドラクーン トールペイント教室作品展	ワイルドラクーン トールペイント教室
12	1月 6日(月)～ 1月30日(木) 〃	小黒三郎氏デザイン使用の糸のこ木工作品展	中村武士・山下伸郎
13	2月 1日(土)～ 2月13日(木) 3月11日(火)～ 3月31日(月) 〃	生涯学習センター所蔵・色紙展 第1弾・第2弾	生涯学習センター
14	3月 3日(月)～ 3月10日(月) 〃	平成25年度石川県民大学校ポスター等図案作品展	石川県民大学校事務局

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度も、篆刻、陶芸、絵画、写真など従来の展示のほか、紙粘土人形やトールペイントなど新しい分野の展示も行われ、多くの人々にご来館頂き、生涯学習の啓発にも繋がった。今後も、県民がより気軽に利用できるよう展示コーナーの運営、工夫に努めるとともに、PRの方法についても検討していきたい。

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨

生涯学習時代の拠点としての公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 60名

場 所

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月23日(木) 10:00～12:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	48人
	13:00～13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会会長 谷村 昭雄	49人
	14:00～14:40	県の生涯学習の施策	石川県生涯学習課参事 谷内 正樹	49人
	14:40～15:20	県立生涯学習センターの役割と事業概要について	石川県立生涯学習センター担当課長 竹林 義隆	49人
	15:30～16:00	公民館活動	白山市湊公民館主事 安部田 美樹	49人
2	5月30日(木) 10:00～12:00	公民館におけるHPの活用	金沢市田上公民館長 関戸正彦 金沢市田上公民館文化教養部長 福田和夫	35人
	13:00～16:00	効果的なチラシの作り方 (演習)	富士ゼロックス北陸(株) 本谷 歩	36人
3	6月27日(木) 10:00～12:00	コミュニケーション能力向上	杉原企画代表口 杉原 美佐子	51人
	13:00～14:30	人権講演 「セクハラ・パワハラのない職場にするために ～その言動、相手はどう受け止めますか?～」	弁護士 加藤 美香保	51人
	14:40～16:10	アイスブレイク	石川県レクリエーション協会常務理事 畠 紀子	51人
4	7月8日(月) 10:00～12:00 13:00～16:00	大人の学びの成果とは何か～すぎなみ大人塾の実践を通して～	東京都杉並区教育委員会事務局 学校支援課教育連携係長 中曾根 聡	31人
5	7月18日(木) 10:00～12:00 13:00～16:00	地域協働のまちづくり	金沢大学地域連携推進センター准教授 松下 重雄	51人
合 計				550人

(注) 5月23日、6月27日、7月18日は必修講座。

5月23日は市町生涯学習担当者基礎研修と合同開催(参加人数は上記以外に基礎研修23人)

6月27日の「人権講演会」は専門研修と合同開催(参加人数は上記以外に専門研修14人、一般15人)

7月8日は専門研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催(参加人数は上記以外に専門研修13人、担当者等研修22人)

事業の評価(成果・課題)

市町の要望もあり、今年度より基礎研修を毎年開催することとした。また、講座内容は昨年度に当センターが実施した県内公民館の実態調査結果を踏まえて、「HPの活用」や「地域協働まちづくり」を盛り込んだ。北は珠洲市から南は加賀市まで、9市町から53名が参加して館長18名、主事等29名が修了した。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習時代の拠点としての公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 40名

場 所

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月20日(木) 10:00～12:00	今求められる公民館	金沢美術工芸大学教授 桑村 佐和子	15人
	13:00～16:00	求められる公民館であるために		15人
2	6月27日 (木) 10:00～12:00	公民館における危機管理	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	14人
	13:00～14:30	人権講演会 「セクハラ・パワハラのない職場にするために ～その言動、相手はどう受け止めますか?～」	弁護士 加藤 美香保	14人
	14:40～16:10	学習プログラムの企画立案	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	14人
3	7月8日(月) 10:00～12:00 13:00～16:00	大人の学びの成果とは何か ～すぎなみ大人塾の実践を通して～	東京都杉並区教育委員会事務局 学校支援課教育連携係長 中曽根 聡	13人
	合 計			85人

(注) 6月27日の「人権講演会」は基礎研修と合同開催(参加人数は上記以外に基礎研修51人、一般15人)

7月8日は基礎研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催(参加人数は上記以外に基礎研修31人、担当者等研修22人)

事業の評価(成果・課題)

今年度より専門研修を毎年開催することとしたが、日程を3日間に半減したことに伴い、2か年にわたる受講で修了とすることとした。また、講座内容は昨年度に当センターが実施した県内公民館の実態調査結果を踏まえて、「危機管理」や「学習プログラムの企画立案」を盛り込んだ。北は珠洲市から、南は加賀市まで5市町から館長1名と主事等14名が参加した。

(3) ファシリテーター養成講座

趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員等にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

参加対象・定員

市町職員、公民館職員、NPO職員及び一般
【入門編】40名 【応用編】30名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

【入門編】

番号	日 時		内 容	講 師	参加人数
1	7月11日(木)	10:00～16:00	入門講座①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	34 人
2	7月12日(金)	10:00～16:00	〃 ②	〃	33 人
3	7月20日(土)	13:30～16:00	修了生実践事例紹介	千里浜公民館 中山 和子 百万石ワールトカフェ 中江 深雪 北陸経済連合会 浅井 修平	25 人
合 計					92 人

【応用編】

番号	日 時		内 容	講 師	参加人数
1	9月12日(木)	10:00～16:00	応用講座①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	21 人
2	9月13日(金)	10:00～16:00	〃 ②	〃	21 人
3	9月28日(土)	13:30～16:00	実地体験計画	生涯学習センター職員	9 人
4	9月29日(日) ～11月22日(金)		実地体験(各自)		16 人
5	12月3日(火)	13:00～16:10	実地体験報告会 修了式	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	17 人
合 計					84 人

事業の評価(成果・課題)

本年度の受講者が入門編34名・応用編21名と定員を下回る結果となった。講師の富永先生は、この講座講師が3年目となるが、受講者のアンケートを見ると、全員の方々から「すごく良かった」又は「良かった」との回答があり、大変好評を得たことから、来年度も同じ講師での本講座を依頼することとし、広報については、従来の手段に加え、受講者を通じたPRにも努めることとした。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

今年度、市町の生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進する上で必要な基礎的知識の修得を図る。

対 象・定 員

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者 30名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月23日(木) 10:00～12:00	生涯学習・社会教育入門	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	23人
	13:00～13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会会長 谷村 昭雄	23人
	14:00～14:40	県の生涯学習の施策	石川県生涯学習課課参事 谷内 正樹	23人
	14:40～15:20	県立生涯学習センターの役割と事業概要について	石川県立生涯学習センター担当課長 竹林 義隆	23人
	15:30～16:00	公民館活動	白山市湊公民館主事 安部田 美樹	23人
2	5月24日(金) 10:00～12:00	生涯学習・社会教育担当者に求められること	金沢美術工芸大学教授 桑村 佐和子	18人
	13:00～16:00	コーディネーター力向上 ～人を動かす話し方～		18人
合 計				151人

(注) 5月23日は公民館職員基礎研修と合同開催(参加人数は上記以外に公民館職員基礎研修49人)

事業の評価(成果・課題)

第2日は市町担当職員のみを対象としていることから、市町担当職員に求められた実務的なテーマを設定したり、他の市町職員との意見交換を深めることができるワークショップを取り入れたりしたことにより、参加者から大変好評であった。来年度も同様な研修内容・方法による研修としたい。

(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

趣 旨

学習教材としての16ミリフィルムの活用活性化を図るとともに、フィルムの保全のために、正しい映写技術の普及に努める。

対 象

一般県民 随時受付

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定 講習(学科、実技)

講 師

石川県立生涯学習センター職員

日 程

番号	日 時	時 間	参加人数
1	8月20日(火)	13:30～16:30	2人
2	11月11日(月)	13:30～16:30	2人
3	12月 2日(月)	10:00～12:00	1人
4	2月19日(水)	13:30～16:30	2人
5	3月17日(月)	13:30～16:30	1人
合 計			8人

事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて講習会を実施している。16ミリ映画教材利用の拡大、映写技術の継承のためにも、今後も講習実施の周知に努めたい。

5 マナビフェアin本多の森

趣旨

いしかわ教育ウィーク(11月1日～7日)に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

主催

石川県立生涯学習センター

会場

石川県本多の森庁舎会議室・生涯学習センター

内容

	講座・時間	対象・定員	会場	内容	参加数
11月1日(金)	本多の森 シネマアーカイブ 13:30～15:45	一般・80名	第3会議室	記録映画5本上映 「昭和天皇の石川巡幸」 「能登路・加賀路の常陸宮殿下」 「蒔絵の美・松田権六の世界」 「大空に架ける50万V能登線」 「朱鷺」	31人
11月2日(土)	あすなる悠々塾 10:00～11:30	一般・70名	第2会議室	石川肇氏による講演「知っ得！セカンドライフ満喫塾」	16人
	本多の森映画会 10:00～12:00	一般・80名	第3会議室	映画「みすゞ」の上映	72人
	ビデオ作品上映会 10:00～12:00	一般・20名	県民大学校 教室2	生涯学習センタービデオクラブによるビデオ作品の上映会	38人
	ふるさとふれあい講座 13:30～14:50	一般・100名	第2会議室	東四柳史明氏による講演「金沢戦国社会と一向一揆」	116人
	講演会 14:30～15:30	一般・70名	第3会議室	石井康子氏による講演「健康と癒し～心と体明るくリフレッシュ～」	26人
	「生涯学習に関する作品展」				
	☆1階ロビー 出展団体：金沢市小立野公民館、金沢市菊川町公民館、金沢市増蔵町公民館、石川県立自然史資料館、内灘町歴史民俗資料館、石川県立金沢辰巳丘高校、石川県立明和特別支援学校 実演団体：北陸学院中学校(ハンドベル演奏)、石川県立金沢辰巳丘高校(似顔絵) 販売団体：石川県立明和特別支援学校(ジャム、クッキー、布製品等)				1338人
両日とも	☆まなびすとルーム(マナビコーナー) 出展作品：「第33回児童生徒俳句大会入選作品展」「鶴峰会作品展」				206人
	「特別企画展示」				
	☆教室1 出展作品：「金子みすゞに関する紹介パネル」「一向一揆に関する紹介パネル」				40人

事業の評価(成果・課題)

昨年までは子供向けの催しも実施していたが、今年は一般向けに内容を絞り込んだ。昨年より実施講座数は減少したものの、講座等の参加者数は増加した。また、今年は石川県民大学校実施機関及び近隣公民館等との連携を深める中で、展示・実演・販売等にも工夫がみられた。

昨年のように隣接する本多の森ホールのイベントによる相乗効果はなかったが、1,300人超の来館者があり盛況であった。今後も事業を継続し、生涯学習センターの取り組みについて広く県民の理解を得ることが大切である。

6 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習振興県民フォーラム

趣 旨

県内の社会教育・学校教育等の関係者が集い、「ネット社会に潜む危険性について ～地域・学校は家庭教育にどのようにかわるか～」をテーマに、実践を交流し、課題と展望を共有することで、『石川県の教育振興計画』がめざす、学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とする。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

後 援

金沢大学地域連携推進センター、石川県教育委員会

協 力

石川県社会教育協会

対象・定員

一般県民、県・市町生涯学習・社会教育職員関係者、公民館職員、学校教育関係者、PTA関係者等

会 場

石川県行政庁舎 1105会議室

参加者数

155人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
1月29日(水) 13:15～13:20	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 坂井 芳子
13:20～14:20	基調講演 「ネット社会の危険性 ～学校・家庭・地域でどのように連携すべきか～」	金沢星稜大学人間科学部学部長・教授 村井 万寿夫
14:30～16:25	パネルディスカッション 「ネット社会に潜む危険性について ～地域・学校は家庭教育にどのようにかわるか～」	コーディネーター 金沢星稜大学人間科学部学部長・教授 村井 万寿夫 パネリスト 石川県高等学校PTA連合会会長 荒井 徹成 七尾市社会教育委員会議会議長 飯田 伸一 石川県教育委員会事務局学校指導課課長補佐 石倉喜八朗
16:25～16:30	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

基調講演、パネルディスカッションでは、ネット社会に潜む危険性や、学校・家庭・地域のそれぞれの立場で取り組みを進めている方からの現状分析や実践について話を聞くことができた。我々の身近にいる子供がネットを通じて大きな事件や犯罪に巻き込まれてしまう前に、学校・家庭・地域が連携して取り組みを進めていく必要があることを再認識できる機会となった。危機や危険への対処ばかりでなく、学校・家庭・地域が温かく子供にかかわっていくことの重要性についても共通認識できた。参加者の立場や年齢によっては、最新のネット社会で起こっていることや、機器関係等の用語が分かりにくいと感じられる方もあった。

(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修

趣 旨

県内の市町及び社会教育施設等の生涯学習・社会教育担当職員等を対象に、「大人の学びの成果とは何か」をテーマに、現状と課題を見つめ、これからの生涯学習による地域社会づくりの推進に必要な職員としての資質の向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県教育委員会

対象・定員

市町教育委員会生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館職員

会 場

石川県行政庁舎1102会議室

参加者数

66人 内訳は生涯学習・社会教育担当職員22人、公民館職員基礎研修31人、専門研修13人

期 日

平成25年7月8日(月) 10:00～16:00

日 程

日 時	内 容	講 師
10:00～10:10	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 坂井 芳子
10:10～11:30	基調講演 「大人の学びの成果とは何か ～すぎなみ大人塾の実践を通して～」	東京都杉並区教育委員会事務局 学校支援課 教育連携担当係長 中曽根 聡
13:00～15:30	リアル熟議「大人の学びの成果とは何か」	
15:30～15:55	全体講評	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重 東京都杉並区教育委員会事務局 学校支援課 教育連携担当係長 中曽根 聡
15:55～16:00	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

先進的な取り組みをされている講師より、詳しい活動内容や塾生の活動の様子を分かりやすく紹介していただき、受講者からも好評であった。熟議は熱心になされ、今後の活力になる内容として大変好評で、有意義であった。熟議での各班の記録を全受講者に配付したところ、好評であった。今後も、生涯学習による地域社会づくりの推進の一助となる内容を追求していくとともに、有意義な情報交換の場、意欲を高めていただける場を提供していきたい。

(3) 教育事務所管内別生涯学習研修会

趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県立生涯学習センター、市町教育委員会等

対 象

市町生涯学習・社会教育担当者、公民館職員等

日 程

教育事務所	日時	内 容 等	参加者数
金 沢	11月7日(木) 13:30～15:30	会場:県行政庁舎11階1101会議室 講義 「定年を迎えた方の生きがいと公民館活動の参加」 富山大学 地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子	22 人
小 松	11月14日(木) 13:30～15:30	会場:能美市寺井地区公民館 講義 「魅力ある講座・イベントの立案・運営方法」 福井大学 教育地域科学部 教授 寺尾 健夫	27 人
中能登	11月27日(水) 13:00～16:00	会場:ラピア鹿島ミュージズホール 講義 「高齢社会における公民館等の役割を考える」 滋賀大学 社会連携研究センター 教授 神部 純一	38 人
奥能登	2月15日(土) 13:30～16:30	会場:珠洲市産業センター、大野製炭工場視察 講義 「能登の里山里海を活用した公民館活動について」 金沢大学里山里海プロジェクト常駐スタッフ・教務補佐員 宇都宮 大輔 大野製炭工場 代表 大野長一郎	46 人
合 計			133 人

事業の評価(成果・課題)

地区毎にテーマについて要望を受け、望まれる実践的な内容の研修会を実施した。大変熱心に受講いただき、有意義な会となった。今後も、実務能力を高める内容としていくとともに、地区ごとの情報交換の場としても活用を図っていきたい。

(4) 県民映像カレッジ

趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター・石川県社会教育協会

対象・定員

一般県民 ・1期 16名 ・2期 16名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
1	6月12日(水)・20日(木)・ 25日(火) 7月2日(火)・9日(火)・ 16日(火) 13:30～16:00	ビデオ撮影及び編集に関する講義・実習	生涯学習センタービデオクラブ会員	104 人
2	10月4日(金)・8日(火)・ 15日(火)・24日(木) 11月5日(火)・12日(火) 13:30～16:00	〃	〃	72 人
計				176 人

事業の評価(成果・課題)

参加者は非常に熱心に受講し技能習得をしており、今後この成果が様々な場所で発揮されることが期待される。また、2期については県教育委員会制作の番組「ふれあい空間いしかわ」で取り上げられ、受講生及び講師・サポートスタッフにとって大いに励みとなった。

なお、前年度は申込者が定員を超え、受講できなかった申込者が発生したコースがあった。そのため今年度は、選に漏れた申込者に再度受講のチャンスが与えられるよう、1期、2期とも同じ内容で募集を行った。

(5) ICT活用講座

趣 旨

ICT等情報技術革命における教育メディア関連の課題について、その対応策・利用方法等を習得することを目指す。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

公民館、図書館、各種団体職員等 18名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
1	8月29日(木)・30日(金) 10:00～15:00	明日から使える！初歩からの フェイスブック活用講座	officeアシスタ 山川 広美	19 人

事業の評価(成果・課題)

県内各地の公民館職員等を対象に、近年急速に利用者が拡大しているソーシャルメディア「フェイスブック」を広報のツールとして活用できるよう、基礎から学んでもらうことを目的に実施した。参加者からは、ソーシャルメディアについてわかりやすく学べた、と好評であった。今後はより多くの方に参加していただけるよう実施時期の検討を行うとともに、今後ともソーシャルメディアについて学ぶ機会を提供し、実際の活動に取り入れられるよう基本的な技術と知識の習得を目指していきたい。

(6) 視聴覚セミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

各市町教育委員会視聴覚教育担当職員及び一般県民 50名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月7日(金) 15:40～16:40	学校教育におけるICT活用の実際	石川県教育センター 指導主事 真舘 英誉	27人

事業の評価(成果・課題)

具体的な事例をととして、情報技術と視聴覚教育の活用方法について学ぶことができた。技術のみではなく、その技術をいかに活用するかが実務担当者にとって重要な課題であり、その点について学ぶことができるセミナーを今後も継続していく必要がある。

(7) 平成25年度(第44回)いしかわビデオ作品コンクール

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主催／共催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

平成25年12月2日(月)～平成26年2月3日(月)

応募規定及び表彰

応募規定 ①教材部門 ・小学校、中学校、高等学校等で活用する教材
・公民館等の生涯学習施設で活用する教材

②一般部門 (①以外の作品全て)

表彰 各部門に最優秀賞、優秀賞、奨励賞の表彰を行う。

また、最優秀賞には各部門に石川県教育委員会賞を、優秀賞には各部門に振り分けて石川県社会教育協会賞もしくは石川県公民館連合会賞を、授与する。

審査及び表彰式

審査会 平成26年2月14日(金)13:30～16:30

表彰式 平成26年3月 4日(火)15:00～16:30

審 査 員

棒田 邦夫(金沢学院大学教授)＜審査委員長＞

勝田 敏夫(メディアアドバイザー)

今村 昌史(県生涯学習課社会教育担当)

村澤 勉(石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

①教材部門…………… 5点 ②一般部門……………12点 計 17点

審査結果及び表彰者氏名

①教材部門	②一般部門
最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 すっごーい！給食室の一日 小松市立国府中学校保健委員会	最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 走れ 走れ なかよし鉄道 西上 章
優秀賞 及び 石川県社会教育協会賞 勇気ある一歩 金沢市立兼六中学校生徒会	優秀賞 及び 石川県公民館連合会賞 山代倶楽部のお神輿作り 小林 恵子
奨励賞(3点) 金沢カレーK 石川県立工業高等学校放送部 宝暦杉の物語 能登町立上町公民館 包丁式の儀 片岡 重幸	奨励賞(3点) 空の見える窓 小林 陽治 焼畑農業の再現 小倉 健治 兼六園霞ヶ池のリフレッシュ 藤平田 友市

事業の評価(成果・課題)

平成25年度は、全応募点数が前年度に比べ4点減となった。また教材部門は応募が5点と、前年度より1点増となったものの少数であった。

課題としては、特に教材部門の応募を増やすために、早期に各学校や視聴覚教育研究団体に働きかけを行い、コンクール実施・作品募集の周知を行うことが必要であると考えられる。

(8) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第10号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月28日(金) 第10号	学校教育におけるICT活用の実際	石川県教育センター 指導主事 真舘 英誉

(9) 自主サークル

サークル名	活動内容
生涯学習センタービデオクラブ	毎月第2土曜日(13:00～16:30)月例会(作品鑑賞等)

Ⅱ 生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) いしかわを知る講座

趣 旨

石川の歴史、文化、自然、産業等について、より深く学ぶことで郷土に対する理解と愛着を深め、心豊かな生活の創造を目指す。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	6月7日(金) 13:30～15:30	『古代の能登を考える ～海に暮らした人々～』	金沢学院大学 教授 小嶋 芳孝	35人
2	6月26日(水) 13:30～15:30	『白山の魅力 ～白山の動植物～』	白山自然保護センター 研究主幹 江崎 功二郎 専門研究員 野上 達也	20人
3	7月31日(水) 13:30～15:30	『金沢城の建造物の楽しみ方』	金沢城調査研究所 主幹 正見 泰	28人
4	8月28日(水) 13:30～15:30	『能登の民話とその背景』	輪島地方史研究会 代表 高山 文雄	38人
5	9月19日(木) 13:30～15:30	『能登の誇りと観光』	金沢星稜大学 教授 大藪 多可志	26人
6	11月7日(木) 13:30～15:30	『いしかわ農業の魅力』 ～「能登牛」「ルビーロマン」「のとてまり」 から見えてくるもの～	奥能登農林総合事務所 所長 黒田 晃	35人
合 計				182人

事業の評価(成果・課題)

根強い人気のある歴史、民俗関係の講座のほか、今年度新規に企画した観光、農業に関する講座も好評であった。参加総数は昨年度を上回ったが、各講座の参加人数はいずれも定員に届かなかったことから、来年度は広報活動とテーマ選定において一層工夫することにより、専門家を講師とした、能登校の核である本講座をより充実させていきたい。

(2) 能登文化講座

趣 旨

地域住民の多様な学習ニーズに対応して、著名な講師を招聘し、専門性の高い生涯学習の場を提供する。併せて能登空港の賑わい創出を図る。

対象・定員

一般 150名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月6日(土) 13:30～15:00	“がんばっぺ、オラの大好きな日本” ～謙遜せずに地方のよさを自慢しよう！～	山形弁研究家 ダニエル・カール	214人

事業の評価(成果・課題)

能登空港賑わい創出実行委員会との共催で奥能登社会教育振興会が後援する講演会。米国から日本の田舎に移住して久しい著名講師が、惚れた日本の地方に残る伝統文化について山形弁とユーモアを交え言葉巧みに講演、能登の聴衆が共感し元気がでる内容で定員を大幅に超え盛況だった。

(3) 古文書解読入門講座

趣 旨

古文書への関心と親しみを深めるため、「古文書解読講座」の入門編として、古文書解読の基礎を学ぶ。

対象・定員

一般 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	9月10日(火) 18:00～19:50	古文書解読の基礎講座 ①	能登分室 職員 左古 隆	27人
2	9月17日(火) 18:00～19:50	〃 ②	〃	24人
3	9月20日(金) 18:00～19:50	〃 ③	〃	16人
合 計				67人

事業の評価(成果・課題)

入門編であるため講座の教材は基本的なものとしたが、内容的には中級程度のものも含まれており、初級者には難しいものもあった。古文書解読の裾野を広げるための講座であり、来年度は内容を厳選し、初級に徹したものとしたい。

(4) 古文書解読講座

趣 旨

地域史の調査や研究に必要な古文書の解読に関する知識と技能の習得を目指す。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	9月24日(火) 18:00～19:50	古文書解読講座 ①	加能地域史研究会 副代表 木越 祐馨	23人
2	10月1日(火) 18:00～19:50	〃 ②	門前郷土史研究会代表幹事 大倉 克男	19人
3	10月8日(火) 18:00～19:50	〃 ③	〃	23人
4	10月15日(火) 18:00～19:50	〃 ④	加能地域史研究会 副代表 木越 祐馨	22人
合 計				87人

事業の評価(成果・課題)

入門講座に引き続いて受講した方が多かった。内容的には加賀藩に関する寺院文書や武家文書の解読などレベルの高いものを扱ったが、受講態度は積極的であった。高い年齢層の受講者が多いことから、来年度は開催時間を日中に変更したい。

(5) 能登陶芸教室

趣 旨

ろくろによる成形・釉薬・焼成などの陶芸体験を通じて、ものづくりの喜びを実感するとともに、心豊かな生活を目指す。

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月2日(火) 13:30～16:30	成 形	珠洲焼 伏見窯 坂本 一郎	13人
2	7月3日(水) 13:30～16:30	〃	〃	13人
3	7月17日(水) 13:30～16:30	素 焼	〃	15人
4	8月1日(木) 13:30～16:30	釉 薬 ・ 焼 成	〃	12人
5	8月6日(火) 13:30～16:30	鑑賞会	〃	14人
合 計				67人

事業の評価(成果・課題)

人気講座で受講者の創作意欲が高く、講師の丁寧な指導を受け技術レベルが向上して優れた作品を仕上げた人が多かった。

(6) あすなろ悠々塾in能登

趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般の方を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	5月28日(火) 13:30～15:00	『能登の化石』	原田 光雄	17人
2	6月13日(木) 13:30～15:00	『私の歴史旅～城を中心にして～』	田上 博幸	36人
3	7月9日(火) 13:30～15:00	『勇気と希望の湧く先人たちのことば』	松本 泰治	13人
4	9月4日(水) 13:30～15:00	『知っ得!! セカンドライフ満喫塾』	石川 肇	15人
5	10月10日(木) 13:30～15:00	『能登における幕府巡見使について』	南 龍保	43人
6	10月22日(火) 13:30～15:00	『石川の地名の由来にせまる』	後藤 朗	24人
合 計				148人

事業の評価(成果・課題)

いずれの講師も意欲的に講義され、受講者には好評だった。能登在住の講師が半数しかいないため、新たな人材を発掘し増やしたい。

(7) 能登特別映画会

趣 旨

名作映画を上映し、シニア世代を中心として生涯学習の機会を提供する。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月18日(木) 13:30～15:30	黄金花	12人
2	9月26日(木) 13:30～15:30	晩春	19人
3	10月24日(木) 13:30～15:30	地獄門	15人
4	11月21日(木) 13:30～15:30	海角七号 君想う、国境の南	18人
合 計			64人

事業の評価(成果・課題)

今年度は老人会の団体鑑賞が無かったので参加者が減った。参加者の年齢を考慮すると古典的な作品が好まれる。今後も魅力ある作品提供に努めたい。

(8) ビデオ教養講座(いしかわの文化を訪ねる)

趣 旨

映像をとおしてふるさと石川の歴史や文化等について学習し、郷土への理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	5月23日(木) 13:30～15:30	①賢婦人 お松の方 ②悪女?真如院 ③徳田のおりんの物語	15人
2	6月5日(水) 13:30～15:30	①藩主能登巡見の道 ②禅定道と三馬場 ③海の道と北前船	16人
3	6月20日(木) 13:30～15:30	①長谷川等伯の世界 ②かがのと古代の衣食住 ③夏にかがやく能登の民	14人
4	7月11日(木) 13:30～15:30	①奥能登の原風景と暮らし ② 能登観音巡礼 ③ローエル能登紀行	19人
5	9月12日(木) 13:30～15:30	①参勤交代の道を行く ②渡来神と対岸海交流の記憶 ③大伴家持の足跡を訪ねて	13人
6	10月3日(木) 13:30～15:30	①極める畜産農家「能登牛」 ②知恵が生んだ発酵食品 ③加賀能登そば道中	9人
7	10月17日(木) 13:30～15:30	①御用釜師 初代宮崎寒雉 ②高山右近・板屋兵四郎 ③台湾大地の父 八田與一	12人
8	10月31日(木) 13:30～15:30	①天領黒島を訪ねて ②近代科学の偉人たち ③加賀生粋の俳人千代	15人
9	11月14日(木) 13:30～15:30	①能登畠山氏 ②珠姫・豪姫天下のお輿入れ ③福浦の時代は流れて	10人
10	11月28日(木) 13:30～15:30	①ふるさとかぶら寿司めぐり ②能登の珍味海鼠 ③加賀能登もち紀行	10人
合 計			133人

事業の評価(成果・課題)

いずれの回も定員を下回ったが、受講者からは大変好評だった。来年度は、全体の回数を削減するとともに、各回の内容については系統的な流れの見える作品を選出したい。また、受講者から要望のあった解説資料を毎回添付することとする。

(9) 夏休み子ども特別映画会

趣 旨

子ども向けの名作映画やビデオを鑑賞することにより、子供たちの豊かな心の育成を図る。

対象・定員

子ども・保護者 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	7月27日(土) 13:30～15:30	ドラえもののび太と不思議風使い ミッキーマウス①	57人
2	8月10日(土) 13:30～15:30	ガリバー旅行記 ミッキーマウス②	20人
合 計			77人

事業の評価(成果・課題)

人気があり上映回数を昨年度に比べ1増の2回としたが、第2回は定員を下回った。来年度は、より魅力ある作品を提供するとともに、開催日を他の夏休み行事と重複しないよう配慮したい。

(10) 夏休み子ども陶芸教室

趣 旨

粘土で形を造り、色を付けて焼き上げ、世界に一つしかない作品を手作りする体験をとおり、ものづくりの喜びを実感し、豊かな心を育む。

対象・定員

小学生・中学生 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月23日(火) 13:30～16:30	成形・素焼	石川県立飯田高等学校 教諭 井上 正浩	22人
2	8月9日(金) 13:30～16:30	釉薬・焼成	〃	21人
3	8月23日(金) 13:30～16:30	鑑 賞 会	〃	19人
合 計				62人

事業の評価(成果・課題)

講師の指導は熱心で、子どもの創作意欲を上手に引き出していた。受講者は概して真面目な態度で一生懸命に取り組み、中には保護者とコミュニケーションをとりながら作業するなど、和やかな場面も見受けられた。

(11) 夏休み子ども科学教室

趣 旨

小学生が身近な科学の実験・工作を行う中で、隠れた面白さや不思議さに触れ、科学への興味・関心を高める契機とする。

対象・定員

4年生以上の小学生 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月22日(月) 13:30～15:30	身近な科学実験	能登分室 職員 坂尻 忠秀	14人
2	8月20日(火) 13:30～15:30	ペットボトルを用いた工作	〃	12人
合 計				26人

事業の評価(成果・課題)

参加した小学生から、「楽しかった」「不思議でした」「びっくりした」等の好評を得た。今年度の受講者が穴水地区に偏っていたことから、来年度は他地区へも広く広報するとともに、回数を1増としたい。

2 他の機関・団体との共催講座

(1) 大人の料理教室

趣 旨

能登外浦で一般的になっている様々な料理を通して食文化を理解し、より豊かな食生活を送る一助とする。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理室)

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	5月31日(金) 10:00～13:00	外浦の郷土料理	安原 弘子	16人

事業の評価(成果・課題)

身近な食材のふき・わらび・こんかいわし・いしるなどを使った様々な料理を調理・試食し、楽しい雰囲気の中で、参加者からは大変好評であった。

(2) お菓子づくり教室

趣 旨

秋の野山の実りを用いて美味しいスイーツを作ることで、簡単なお菓子作りの技術を習得するとともに、実りに感謝する心豊かな生活を目指す。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

小学校5年生以上の一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理室)

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	10月19日(土) 10:00～13:00	秋のスイーツづくり	地域活動栄養士 沖崎 美子	15人

事業の評価(成果・課題)

さつまいも・栗・リンゴなど使って、家庭で手軽にできるスイーツづくりに取り組んだ。受講者は調理ばかりでなく、講師の指導により、栄養面や健康面についての意識も深めたようであった。

(3) サンドブラスト体験教室

趣 旨

能登空港マスコットキャラクター「スカイのっぴー」と季節折々の図柄をガラス(コップ)に彫刻し、ものづくりの喜びを実感し、あわせて能登空港への親しみを深める。

主 催

能登空港賑わい創出実行委員会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般 各50名

会 場

能登空港 能登の旅情報センター前

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	4 月 1 4 日(日)	お花見のっぴー	140人
2	5 月 1 2 日(日)	のっぴーと鯉のぼり	200人
3	6 月 9 日(日)	のっぴーと雨宿り	120人
4	7 月 7 日(日)	のっぴーと開港10周年	520人
4	7 月 1 4 日(日)	のっぴーと天の川	110人
5	8 月 1 1 日(日)	のっぴー海水浴	168人
6	9 月 8 日(日)	お月見のっぴー	120人
7	1 0 月 1 3 日(日)	のっぴー空の運動会	580人
8	1 1 月 1 0 日(日)	のっぴーモミジ狩り	100人
9	1 2 月 8 日(日)	のっぴーサンタ	184人
10	1 2 月 2 3 日(月)	12ヶ月自由図柄	500人
11	1 月 1 2 日(日)	のっぴーのお正月	150人
12	2 月 9 日(日)	のっぴーと雪だるま	100人
13	3 月 9 日(日)	のっぴーのひな祭り	100人
合 計			3,092人

※実施日、毎月第2日曜日。時間帯は午前：10時～12時
午後：1時～3時

事業の評価(成果・課題)

大変人気があり、毎回定員を超える参加者であった。家族揃っての参加が多く、その大部分は年間とおしての作品づくりを目指すリピーターである。また、旅行者の参加も多くみられ、能登空港の賑わいと活性化に大きく寄与している。

3 能登分室利用状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	23	25	31	70	84	76	64	76	84	62	42	51	56	721
	24	23	37	66	63	72	66	50	64	62	33	44	59	639
	25	36	57	58	81	76	64	75	79	67	43	49	40	725
人数	23	771	836	1,941	3,367	3,214	1,446	2,608	2,844	2,878	894	1,833	1,944	24,576
	24	438	1,062	1,907	2,255	2,415	1,296	1,463	2,138	2,269	713	1,387	1,675	19,018
	25	1,014	1,521	1,217	2,312	2,295	1,566	2,702	2,252	2,773	804	1,188	1,057	20,701
1日平均	件数	23	0.8	1.0	2.3	2.7	2.5	2.1	2.5	2.8	2.2	1.5	1.8	2.0
		24	0.8	1.2	2.2	2.0	2.3	2.2	1.6	2.1	2.2	1.2	1.6	1.8
		25	1.2	1.8	1.9	2.6	2.5	2.1	2.4	2.6	2.4	1.5	1.8	2.0
	人数	23	25.7	27.0	64.7	108.6	103.7	48.2	84.1	94.8	102.8	31.9	63.2	68.3
		24	14.6	34.3	63.6	72.7	77.9	43.2	47.2	71.3	81.0	25.5	49.5	53.0
		25	33.8	49.1	40.6	74.6	74.0	52.2	87.2	75.1	99.0	28.7	42.4	57.7

・平成15年5月6日開設。

・H25年度 3月までの利用状況 (開館日数 359 日)

・利用件数 725件 対前年比 13.5% (H24 639件)

・利用人数 20,701人 対前年比 8.8% (H24 19,018人)

Ⅲ 調査研究レポート (1)

「公民館における学習プログラムの作成及び実践事例」

ー学びの場を核とした地域コミュニティの形成を目指してー

1 はじめに

当センターは、金沢大学社会教育研究振興会及び同大学地域連携推進センターとともに、地域の学習拠点としての公民館事業のよりよい推進を図るため、昨年度、県内280公民館を対象に管理・運営や事業講座の内容、職員の研修等に関する実態調査並びに分析を行ない、全体的な特徴についてまとめた、「県内公民館の事業・運営等に関する実態調査報告書」を平成25年3月に発刊したところであります。

今年度は、公民館が地域コミュニティの拠点として地域住民が集い、学習することを通して、地域社会がより一層の活性化を図ることができるよう公民館における学習プログラムの作成方法及び県内外25公民館の特色ある公民館活動の実践事例を紹介した「公民館における学習プログラムの作成及び実践事例」を発刊いたしました。

2 概要（研究報告書）

(1) 公民館における学習プログラムの作成について

公民館が事業として実施する学級・講座など学習機会提供事業の学習プログラムの企画・立案から実施までを実務的な流れに沿って紹介する。（東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課計画係長 稲葉 隆）

(2) 生涯学習活動の実践事例の紹介

過去に、各公民館で実施された生涯学習事業の実践事例の中から特徴的な事業や効果の高かった事業(県内20公民館・県外5公民館)を選定し、学習活動の区分（テーマ）により掲載する。

① 県内公民館（20公民館）

テーマ	公 民 館 名	事 業 名	市 町 名
家庭教育	加賀市立庄公民館	庄の子どもを育てる会	加賀市
〃	加賀市立三木公民館	三木っ子いきいき塾	〃
〃	金沢市松寺公民館	親子でチャレンジ	金沢市
〃	輪島市立大屋公民館	キッズファーム『土と遊ぼう』	輪島市
地域づくり (まちづくり)	加賀市立大聖寺公民館	再発見 大聖寺ウォーク	加賀市
〃	白山市立湊公民館	住みよい地域づくり	白山市
〃	金沢市田上公民館	公民館と人づくり、町づくり	金沢市
〃	内灘町宮坂公民館	意識啓発看板掲示・設置	内灘町
少子・高齢化	内灘町大根布公民館	いきいきサロンひまわり	内灘町
〃	羽咋市立一ノ宮公民館	中高年の生きがいづくり	羽咋市
〃	志賀町立志加浦公民館	放課後児童教室と連携	志賀町
〃	珠洲市立直公民館	一人暮らし老人への配食サービス事業	珠洲市

テーマ	公 民 館 名	事 業 名	市 町 名
防災・安全	金沢市新神田公民館	災害時に即応した防災学習と訓練	金沢市
〃	七尾市高階公民館	自主防災組織について	七尾市
環 境	加賀市立片山津公民館	柴山潟 ガガブタ プロジェクト	加賀市
〃	金沢市大浦公民館	大浦校下ホタル育成事業	金沢市
〃	七尾市御祓公民館	ゴミゼロ運動	七尾市
そ の 他	白山市立一木公民館	現代的課題講座「あさがお教室」	白山市
〃	金沢市大野町公民館	ふるさと再発見事業で地域活性化を！	金沢市
〃	七尾市能登島公民館	団塊世代交流事業「男の!! ○○○○」	七尾市

② 県外公民館（5公民館）

テーマ	公 民 館 名	事 業 名	住 所
家庭教育	一宮市大和公民館	親子ふれあい教室 ―小・中学生を誘い込んでの公民館活動の試み―	愛知県一宮市観音寺 1-15-10
地域づくり (まちづくり)	広島市草津公民館	青空ギャラリー	広島市西区草津東二丁目 20-7
〃	郡上市相生公民館	中学生理事制度	岐阜県郡上市八幡町相生 1371-4
少子・高齢化	福井市円山公民館	まろやかセミナー ～豊かな健康・長寿社会の実現のための学習～	福井市北今泉 7-12
そ の 他	飯塚市穂波公民館	ほなみ龍王塾	福岡県飯塚市秋松 4 0 8

(3) まとめ

公民館業務は、かつてとは違って拡がるばかりであり、現在の職員体制でいかに対応するか、館事業への参加をいかに奨励するかなど、向き合わねばならない課題は多いが、自己研鑽やそれぞれの実践から得られたものを共有・情報交換等をし合い、私たち社会教育にかかわる者自身の力量形成の機会や場を大切にしながら、今後とも精進していきたいものである。（金沢大学地域連携推進センター 教授 浅野 重秀）

本調査研究レポートの内容等については、調査研究冊子「公民館における学習プログラムの作成及び実践事例」をご覧ください。

Ⅲ 調査研究レポート (2)

「ふるさとモット学び塾」～いしかわの魅力を再発見しよう！～

1 はじめに

平成2年中教審答申「生涯学習の基盤整備について」では、「生涯学習センター」の役割の一つに「地域の実情に応じて、必要な講座等を主催すること」を示している。当センターでは、この趣旨に基づき、県民が石川県の文化・歴史・産業等を学習する機会として「いしかわいきいき講座」を開催してきたが、平成25年度は、新規事業として「ふるさとモット学び塾」を開講した。ここでは、その主な取り組みについて紹介する。

2 「ふるさとモット学び塾」の概要

「ふるさとモット学び塾」は、子どもから大人までの幅広い世代の県民の皆様が、ふるさと石川に対する愛着と誇りを深めていただくことができるよう、石川に関する文化、歴史、自然等について、大学の先生等、その道の専門家から直接学ぶことができる講座として、開設した。

本県では平成23年に教育施策の推進を図るため、「石川県の教育振興基本計画」を策定した。その基本計画の一つに「学びの気運に満ちた生涯学習社会づくり」を掲げ、県民が心豊かに生きるための学習機会の充実等を推進していくこととしている。本講座を通して、県民に、ふるさと石川への興味・関心を高め、石川への愛着と誇りを、より一層、深めていただきたいと願っている。

「ふるさとモット学び塾」は、「ふるさとふれあい講座 本多の森会場」、「ふるさとふれあい講座 現地コース」、「ふるさと発見出前講座」の3つのコースから成っている。次に、それぞれについて詳しく述べることにする。

3 ふるさとふれあい講座「本多の森会場」 *講座内容等は本冊子11ページ参照

平成24年度までの「いしかわいきいき講座」を継承した、石川県立生涯学習センター（石川県本多の森庁舎）を会場にした講座である。定員を前年度の80名から100名とし、実施回数も2回増の10回とした。うち4回は、土・日曜日に開催した。

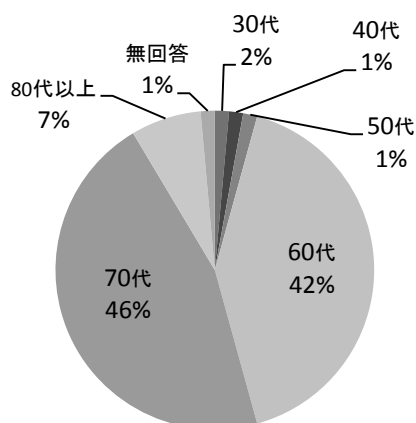
全国で活躍されている石川県出身のパティシエ 辻口博啓氏を皮切りに、10名の講師陣による石川の文化・歴史・自然等をテーマとした全10回の講座を開催した。10回全ての講座を受講された方は10名おり、閉講式で「修了証書」を授与した。

受講者の中には、「自分はかなり詳しく知っているという自信があったが、講演で聴いた内容は、初めてのことで、非常に驚いた」との声も聞かれ、専門の講師による講演は、知っているようで知らなかった石川の魅力を再発見できる内容であった。また、講演は過去の歴史や人、文化、自然等の遺産についてのみならず、現在ふるさと石川のために様々な形で活躍する人としての生き方、そして未来への展望を示してくれる内容であり、受講者を勇気づけ、これからふるさと石川でどう生きていけばよいかを示唆してくれる内容であった。また講演の最後には、受講者からの質問に講師が答えてくださる等、講師との「ふれあい」も生まれ、和気藹々とした雰囲気が進められた。

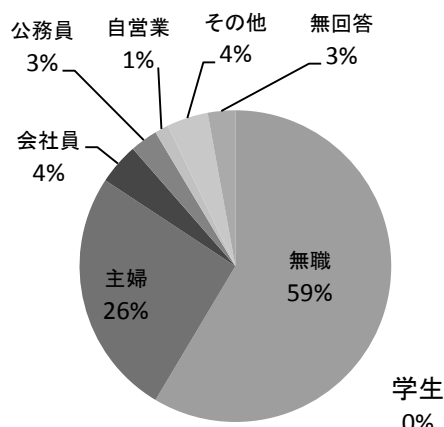
(1) アンケート結果より

最終回である第10回の際にアンケートを実施した。参加者82名のうち70名の回答があった。

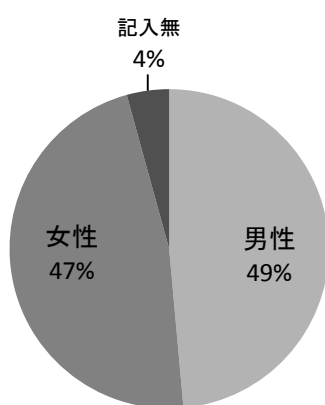
(次ページのグラフ参照)①受講者の年代は、60代と70代を合わせた割合が88%となった。②受講者の職業は無職59%、主婦26%、両方で85%となった。アンケートを実施した日は金曜日であり、このような結果となったと思われる。講座は金曜日が6回、土・日曜日が4回、いずれも13時30分から開催したが、土・日曜日には、小学生が参加する等、本アンケートの結果よりも若い世代の参加者の姿が見られた。



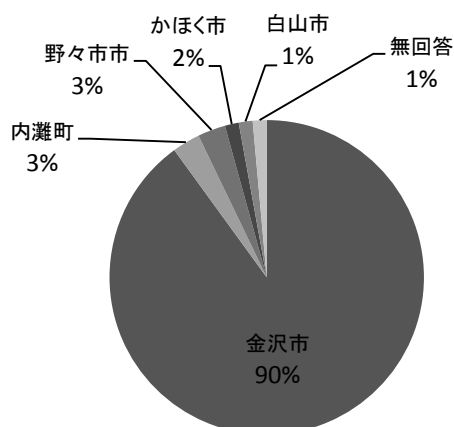
①年代



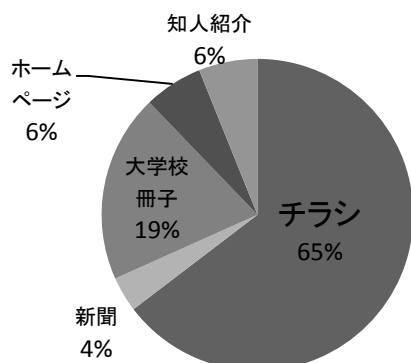
②職業



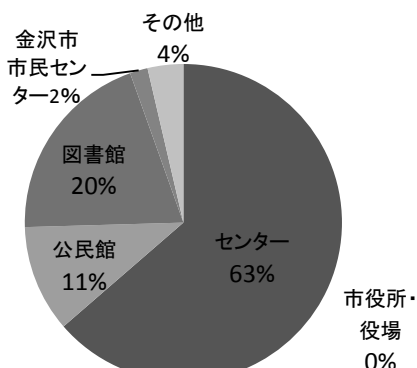
③性別



④住所



⑤媒体



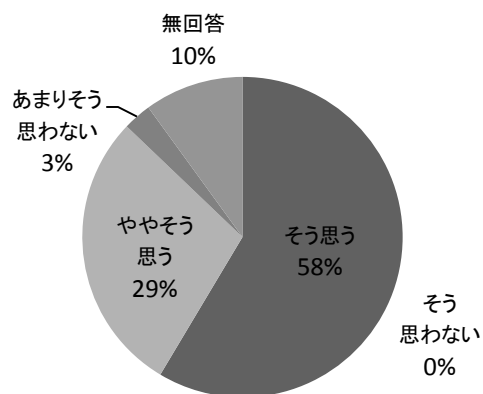
⑥チラシ入手場所

③男女の比率は、ほぼ同数、④受講者の住所は、金沢市が90%となった。当センターは金沢市中心部に位置していることから、このような結果となったと思われる。広報等により、金沢市以外の受講者の割合も増やしていくことが今後の課題である。

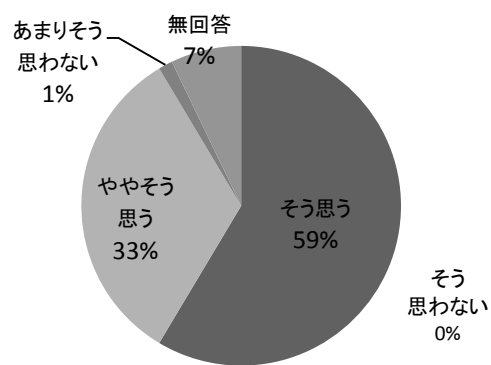
⑤本講座を知った媒体については、チラシ65%、石川県民大学校受講案内冊子19%、当センターのホームページ6%等、当センターの発行・発信するメディアが90%を占めた。⑥チラシの入手場所については、当センター63%が最も多かったが、図書館・公民館等センター以外の場所も3割あった。チラシは県内の図書館や公民館等に設置していただいたものであるが、これをより多くの方に目にさせていただく工夫をし、当センターに来館したことのない方の受講を進めていくことが課題である。

講座内容について、アンケートの中で以下の①～⑤の5つの質問をした。

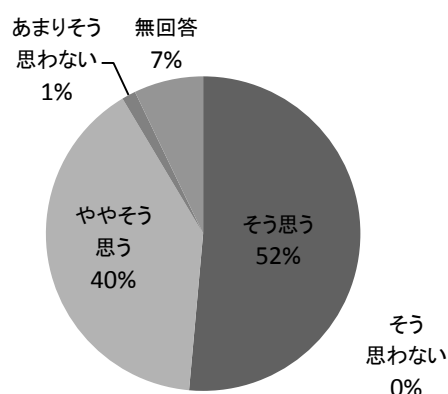
- ①今年度の講座について、ご満足いただけましたか。
- ②石川の文化、歴史、自然等について、興味・関心が高まりましたか。
- ③石川の文化、歴史、自然等についての知識を深めることができましたか。
- ④ふるさと石川への愛着や誇りを深めることができましたか。
- ⑤石川の文化、歴史、自然等の魅力を他の人に伝えたいという気持ちやおもてなしの心が高まりましたか。



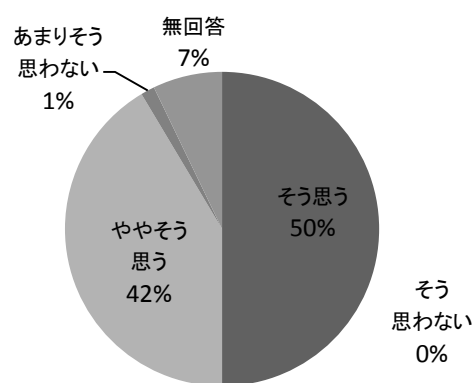
①満足度



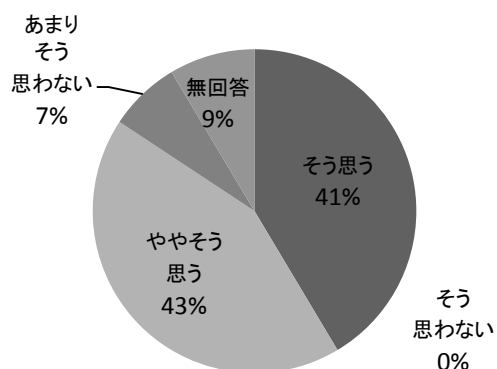
②興味・関心



③知識



④愛着・誇り



⑤おもてなしの心



①～③の質問に対する「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、①満足度 87%・②興味・関心度 92%・③知識の深まり 92%と好評価であり、講座の内容が受講者の期待に応えるものであったことがわかる。

本講座の目的である「ふるさと石川に対する愛着と誇りを深めていただく」という点についても、④愛着・誇りの深まり 92%と高い評価であった。⑤「おもてなしの心」については、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は84%という結果であった。いよいよ北陸新幹線金沢開通を迎える時が近づき、受講者の「知識や興味・関心、愛着・誇り」の高まり・深まりを、よりよい形で「気持ちや心」、更に「魅力を伝える」ことへと結び付けていくことが課題である。

(2) アンケート自由記述より

受講者アンケートの自由記述欄には次のような意見・感想が寄せられた。

- ・ ふるさとについて学びを深めることが出来ました。北陸に生まれ育ったことを幸福に思えます。今後の講座にも期待しています。
- ・ お話は特に知らない事も多く、大変興味深く、行きたい場所が増えました。
- ・ 著名な方達の講演を聴くことが出来ることはとても良いので、今後も続けて欲しい。
- ・ すばらしい方々の講座で、本当にうれしく参加させていただきました。
- ・ 多方面にわたっての興味関心が深まりました。
- ・ 講座分野がバラエティーに富んでいて楽しい。
- ・ 講師もバラエティーに富んでいて楽しく受講した。来年も受講したい。

様々な分野で活躍される講師からお話していただくことにより、前述した「知っているようで知らなかった石川の魅力を再発見できる」内容となったばかりでなく、私達がまだ十分に知らないほどに豊かな魅力を持つ「ふるさと石川」について、受講者の興味・関心の範囲が広がり、「ふるさと」について「もっと学び」たいと思っただけの内容となったことが伺える。また、様々な分野の講座を積み重ねるごとに、それらが一つになって「ふるさと石川」の魅力となっていることも次第に明らかになってきた。

4 ふるさとふれあい講座「現地コース」 ＊講座内容等は本冊子 12 ページ参照

「いしかわいきいき講座」は、全て当センターを会場に行なっていたが、会場を県内各地に移し、直接、石川の歴史や文化、自然に触れ、ふるさと石川の魅力を深めていただくことをねらいとする講座が「現地コース」である。

5名の講師を迎え、鳥越、羽咋、七尾、金沢東山、加賀橋立を訪ねた。5回のうち、3回を土・日曜日に実施した。

石川県内各地の史跡、偉人ゆかりの地を訪ね、貴重な文化遺産等を目にしながら、専門の講師から直接、歴史や文化について奥深い解説を聴くことができた。現地を訪ね、遺構や景観を見て、講師の話聴くという体験は、遠い昔へと旅しているようでもあり、現地訪問を通してしか体感できない魅力的な講座となった。また、講師や訪問施設の方々のご厚意により、普段は目にすることのできない貴重な史料等を特別に見せていただくことができた講座もあり、受講者からも感激の声が多く、非常に好評であった。

当センターとして、直接現地を訪ねての講座は10年振りの企画であったが、応募者も多く与えられ、予定の定員25名を35名に増やして実施した。しかし、それでも抽選漏れとなる方が多く、「同じ講座を二度実施できないか」、また「定員をもっと増やしてほしい」との要望をいただくほどの人気であった。

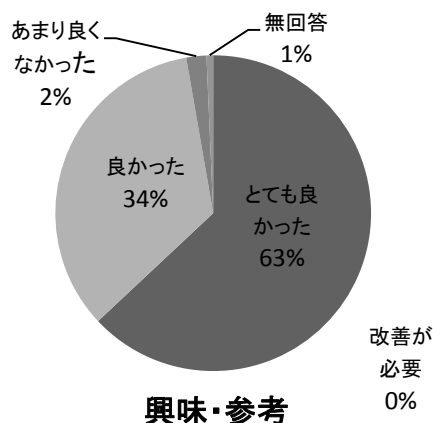


(1) アンケート結果より

現地コースの各回毎にアンケートを実施した。第1回から第5回の参加者149名のうち146名の回答があった。

受講者の年代、職業、男女比率、住所、本講座を知った媒体、チラシの入手場所については、前述した「本多の森会場」のアンケート結果とほとんど同じであったので、ここでは詳しい記述は避ける。

講座内容について、「興味が持て、参考になる内容でしたか。」という質問をした。



回答のうち「とても良かった」と「良かった」を合わせた割合は97%と非常に高い評価であった。受講者の高い満足度は、先ず講師自身が綿密な準備をしてくださりと、また貴重な文化遺産を前に熱心にお話をしてくださったことによることが、この結果からもおわかりいただけると思う。

(2) アンケート自由記述より

講座の感想や意見の自由記述欄には、次のようなものがあった。

- ・ 詳しい歴史的事実の勉強になった。
- ・ 説明も丁寧で大変わかりやすかった。興味深かった。
- ・ こんなに満点の解説者には今まで出会えなかった。
- ・ 充実の1日だった。悪天候だったが、苦にならなかった。講師の人選が良かった。

これらの感想から、専門の講師と一緒に現地を訪ね、講義を受けることは、「深い学び」にとっても、非常に良い効果をもたらしたと言えるだろう。

各回、数か所の施設を訪問したが、そのことについて、以下のような感想があった。

- ・ 住職様の案内があり、種々教えて頂けて非常に良かった。
- ・ 宮司さんのお話は大変良かった。
- ・ 講師と会話を交わし、疑問に答えていただいた。

訪問先では、施設職員や住職、宮司に、案内や解説をしていただくことができ、さらに充実した講座となったことがおわかりいただけるだろう。また、講師と一緒に行動することで、気軽に質問を投げかけ、講師の訪問地に対する深い造詣や愛情を感じ取ることができ、人間的な「ふれあい」を感じられる講座となった。

非常に多かった感想は次のようなものである。

- ・ 近くても意外に来られないので、この機会に来られて良かった。
- ・ 普段個人で行けないところへ行けるのが魅力。
- ・ 日頃なかなか時間をかけて見学出来ない場所を見ることが出来て大変良かった。
- ・ 見学地は一般に開放されない所なので、今回見られてうれしかった。
- ・ 城跡は、高くて登れないと思ったが、皆さんと一緒に登ることができ、よかった。
- ・ 日頃入れない場所に入ったり、古文書が直に見られて良かった。

これらの意見からは、「行きたいと思っけていても、なかなか行くことができない。」という思いが読み取れる。本講座が、現地訪問学習の良い機会を提供できたと言えるだろう。他の受講者の皆さんと一緒に行く安心感や、共に学ぶ楽しさ、受講者同士の「ふれあい」も提供できたのではないか。また、アンケートからもわかるように、本講座では講師や訪問先の皆様に大変お世話になった。寒い日に暖房を準備して受講者を迎えていただいたり、貴重な文化財等を特別に見せていただいたりした講座もあった。

講座の詳しい日程については、当日、受講者へのしおりにより示したが、記載した時間通りに行動できなかった講座もあり、以下のような意見をいただいた。

- ・時間を守って進行してほしい。秋は日も短く、帰宅時には暗くなるので。
- ・もう少し天候の良い時期にしてほしい。

これらの意見については、真摯に受け止め、今後は終了時刻を早める等の対応をしたい。ただし、荒天のために、日程や訪問先を大きく変更した回もあり、受講者から臨機応変な対応に良い評価をいただいたこともあった。

その他、アンケートでは運営面について細かなご指摘をいただき、集合・解散場所、バスの乗降方法、文化財保護のためのマナー等、改善点を多く示され、次の回の運営のために生かすことができた。

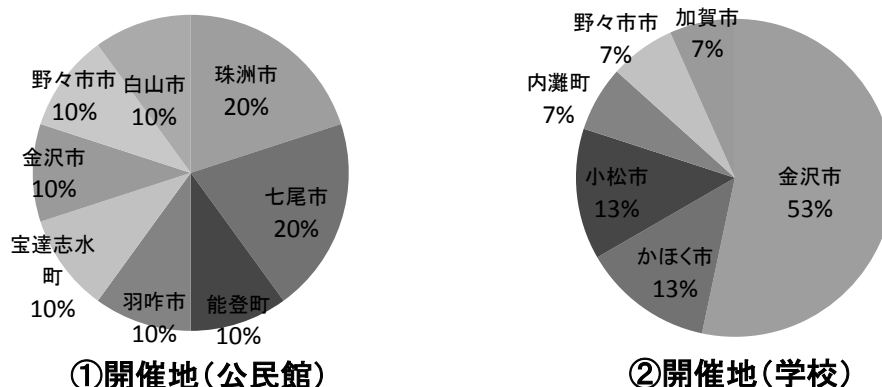
5 ふるさと発見出前講座 ＊講座内容等は本冊子13・14ページ参照

会場を県内各地の公民館・小中学校に移した出前講座である。当センターでは過去に一般の方を対象とした出前講座を実施したことはあるが、小中学生にも対象を広げ、10公民館・15小中学校に講師を派遣し、講座を出前する新しい試みである。

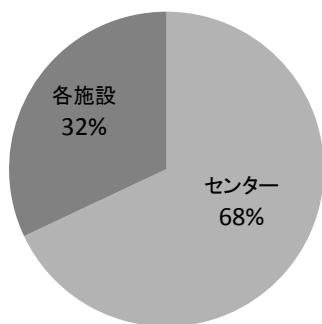
石川について各公民館・学校が独自に選んだテーマに応じた専門の講師を派遣した。地域の生き物、柴山潟、打木源助大根の生みの親松本佐一郎、金沢三文豪、加賀百万石と前田家、九谷焼、金沢漆器と加賀蒔絵、各地域の郷土料理、加賀友禅、長谷川等伯、白山信仰の歴史、能登幕府巡見使、里山里海の保全等、各地域に密着したテーマが多く取り上げられた。各地域の子ども達を教える先生、各地域の学びのニーズを知る公民館職員の求めに細かく対応することができた。

(1) 実施報告書結果より

講座実施後、25施設全てから提出があった。なお、平成25年度は募集枠25に対し、25の応募があり、実施不可とした施設はなかった。



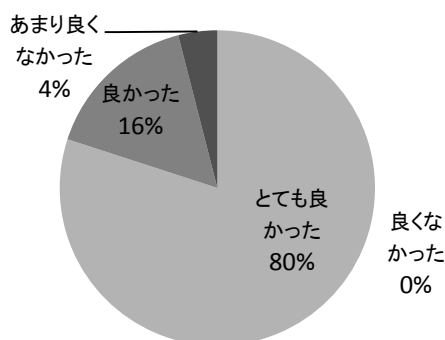
開催地を見ると、金沢市以外での開催が①公民館では90%、②小中学校では47%となった。公民館では地域的な偏りがなかったが、小中学校では金沢市が53%と多くを占めていることと、能登での開催がなかったことが課題である。公民館・小中学校に広く「出前講座」を知っていただけるよう、積極的に広報をしていく必要がある。「石川の隅々にまで」の思いから、平成26年度は、公民館について10講座を増やし、20公民館とする予定である。大いに活用していただきたいと願っている。



③講師選定(公民館と学校)



③講師の選定については、センターで選定したものが68%、各施設が独自に選定したものが32%であった。「こんな講座を開きたいが、良い講師がなかなか見つからない」という施設が多いことが伺える。



④講師(公民館と学校)



④講師については、「とても良かった」と「良かった」の合わせた割合が96%と非常に高い評価であった。学校の一教室・公民館の一室から、体育館のような広い会場まで様々な会場で、様々な年齢の対象者に合わせたお話ができる講師を派遣することができ、このような評価をいただいたものと思われる。

(2) アンケート自由記述より

講師のお話について、以下のような意見が多くあった。

☆公民館

- ・充実した資料とユーモアある話し方で、参加者からは大いに勉強になったと感謝された。来年も申し込みたい。
- ・一般の人にもわかりやすい内容で良かったです。とてもためになりました。

☆小中学校

- ・講師の講演・実技説明に続いて、子どもたちの実技があり、とてもわかりやすく楽しそうに取り組むことができた。
- ・先生の人柄や一生懸命に児童に伝えてくださる話し方、たくさんの準備等、とても感動しました。児童は金沢の文化の深さとそれを伝えていく人の魅力を感じていました。ありがたいの感謝の一言につきます。
- ・郷土料理について子ども達にとってもわかりやすくお話して下さいました。映画「武士の献立」とも関連づけて大変興味深く聞くことができました。
- ・子ども相手にお話をするのに慣れた方が講師だったので助かった。
- ・子どもたちにとって少し難しい内容だったが、クイズ形式の説明やスライドの導入等により、わかりやすく聞くことができた。

お話の内容が「わかりやすい」という意見が非常に多かった。詳しい資料、パワーポイントの使用等様々な工夫をしていただいた講師が多かったお蔭である。施設の外から「先生」を迎える本講座には、講師の熱心に語る姿や生き様から学ぶことも多いと思われる。講師の多大なご準備に感謝するものである。

一方、次のような記述もあった。(いずれも小中学校)

- ・いろいろ深いお話が聞けてよかったですと思いますが、スライド等の画像を交えていれば、もっと興味が持てたと思います。
- ・講座の内容が中学生にとって難しすぎた面がありました。写真や実物を見せた講座の方が良かったかもしれません。

小中学生に向けてのお話には、視聴覚教材等の工夫が必要であったようである。講師に、事前に学校側からの要望としてお伝えしておくこと、また講師と各施設担当者が綿密に連絡を取り合い、お互いに遠慮なく打ち合わせができるようにセンターとして援助していくことが今後の課題である。

最後に、「ふるさと教育」・「身近な地域についての学び」について、以下のような意見があった。

☆公民館

- ・今後も地域にまつわる行事や風習について聞きたいです。

☆小中学校

- ・本校では、ふるさと教育を一つの重点としているので、〇〇先生の講座は続けていきたいと思います。また、少しずつ様々な講座を開拓していきたいと思いますので、ご支援いただけますならありがたいです。

本講座について、「石川県全体のことをテーマにしないといけませんか？」との問い合わせをいただく。答えは、「いいえ。公民館・学校のある地域のことをテーマにしてください。」である。ふるさと石川について学ぶことは、自分達の住む身近な地域を知ることから始まると言えるだろう。本講座では、そのような身近な地域について多く取り上げられていた。公民館・学校が独自に、またセンターの協力も得ながら、長く関わっていただける「地域の先生」探しをしていくことも大切な課題であろう。

最後に、本講座を別の講座の事前学習と位置づけて、実施した公民館があったので、今後の参考にさせていただきたい。

- ・大野弁吉に関するわかり易い講演を聞いてからのからくり記念館の見学はとても好評でした。次年度も継続したい。

6 終わりに

受講者のアンケートからは、「ふるさと石川についてもっと学びたい」という意欲は非常に高く、学習需要についても多様化と高度化が進んでいることが感じられる。今後とも県民のニーズに応え、「いつでも、だれでも、どこでも」生涯学習活動を行える環境を整備し、学習機会を拡大し、県民の生涯学習活動をさらに活性化するために一層充実した活動をしていきたいと願っている。

平成20年中教審答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」では、「各個人が自らのニーズに基づき学習した成果を還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献するといった知の循環型社会を構築することの重要性が提言された。生涯学習センターの役割に、学習成果が活用され、「社会に還元」されることの重要性が増してきた。

折しも、平成27年春には北陸新幹線金沢開業を控えている。本講座の受講者には、学習成果を活かして、ふるさと石川の魅力を多くの方々へ紹介するおもてなしの役割を担っていただくことを、強く期待するものである。さらに、今後このような方のためにより充実した内容の講座を提供していきたいと考えている。

平成 2 5 年度
事業報告書

平成 2 6 年 5 月 2 0 日発行
編集・発行 石川県立生涯学習センター



〒920-0935

金沢市石引 4 丁目 1 7 番 1 号
石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用